

調査員の調査結果に関する資料

教科・種目	教科書名	発行者
国語	新編 新しい国語 1 2 3	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「領域別教材一覧」により、一年間の学習の見通しを持つことができる。 ・学習で身につけたい言語能力のポイントを、「言葉の力」として示している。 ・各学年末に、未来を考えるための教材「未来への扉」が設けられている。 ・学習の見通しと振り返りの過程を重視しており、何に注目して学習し、振り返るのかを生徒目線で示している。 ・「読書への招待」や資料編の読書案内などで多くの本を取り上げ、生徒の多様な興味関心をかき立てたり、読書活動を行ったりするきっかけを作っている。 ・学習の導入に効果的な動画やゲーム形式のものなど、生徒の実態に応じたデジタルコンテンツが豊富である。 ・他教科と関わるものを取り入れて教科関連マークで示している。 ・語彙を豊かにするため、教材に関連した言葉の学習や言語についての学習を偏りなく取り扱っている。 ・基本的な練習問題、主体的な問題解決を促す投げかけ、様々な条件での「書く」課題など、多様な言語活動を取り上げている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間、同じ単元構成がなされ、年間の系統性がある。 ・各学年の、本編、資料編を合わせた構成は、小説・随筆、説明、古典、韻文、書く、話す・聞くとバランスよく構成されている。 ・1年前半の教材は、小学校高学年の復習となる内容になっている。 ・3年資料編では古典の文法（発展的な学習）を扱っている。 ・「話すこと・聞くこと」の言語活動は各学年3か所での扱いであるが、「読むこと」教材の後など、話し合いの活動の設定を多くしている。 ・補充学習として「ノートの書き方」や「国語辞典の引き方」「原稿用紙の書き方」や思考のヒントとなるような思考ツールといった事柄が取り上げられている。 ・「学びを支える言葉の力」は、関連の深い教材の前後に配置されている。 ・情報活用能力を育てるための教材が全学年にある。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解を助けるため、挿絵や図表を用いている。古典作品では、美しい写真資料とともに、古典の鑑賞・解説の文章を豊富に掲載している。 ・1年生の初めは、教科書体の大きな活字が使われている。教材文は明朝体が基本であるが、内容によっては字体を変え、視覚に訴える工夫がされている。 ・独自のキャラクターと4人の中学生が登場し、生徒目線の疑問を抱きヒントをくれることで、ともに学習し成長していくというストーリー性を感じさせる。 ・学習を深め、広げたりするための資料や内容をデジタルコンテンツとして準備することで教科書のページ数を削減し、生徒の身体的負担軽減に配慮している。

教科・種目	教科書名	発行者
国語	現代の国語123	三省堂

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「領域別教材一覧」に「つきたい力」が示されている。 ・言葉を使ってももの見方や考え方の力がつくように、思考ツールが9種類の「思考の方法」として分かりやすく図解されている。 ・教材ごとに「学びの道しるべ」が示され、見通しを持って主体的に取り組めるように工夫されている。 ・「学びを広げる」では、学習した内容を踏まえ「書くこと」「話すこと」「聞くこと」などの言語活動をすることで、さらに自分の考えを深めたり広げたりできる内容となっている。 ・読書に親しめるように「読書の広場」で「生き方」「心」「言葉」「自然科学」「平和」「文化」の6テーマに沿った図書の紹介をしている。また「私の本棚」として教材に関連する図書の紹介もしている。 ・解説動画や漢字・文法のデジタルドリルなどデジタルコンテンツが豊富である。 ・「語彙を豊かに」を教材ごとに掲載し、教材に関連した語句を取り上げ、語句への理解を促したり、使える語句を増やしたりできるように工夫されている。 ・対話的な活動を系統的に学べるように、各学年の第一単元でグループディスカッションを取り上げている。 ・各学年に「読み方を学ぼう」という、基本となる「読み方」に焦点化して学習するプレ教材が多数設定されている。 ・全学年に英語や音楽と関連して言葉について考える教材が含まれている。 ・各学年とも「情報と関係づける」では、漫画スタイルで情報に関する解説をしている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生は9単元、3年生は8単元で構成されている。 ・各学年の、本編、資料編を合わせた構成は、小説・随筆、説明、古典、韻文、書く、話す・聞くとバランスよく構成されている。 ・1年では小学校からの流れに配慮し、基礎基本の学習からスタートしている。 ・多くの教材に二次元コードが掲載され、ウェブサイト上に補充教材として使える資料などが豊富に用意されている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解を助けるため、挿絵や図表を用いている。古典の教材では年表を用いて、学習した古典作品の成立順を示している。 ・1年生の初めの文章教材は大きい活字を使用している。教材文は明朝体が基本だが、学習内容により字体やフォントサイズを変え、視覚に訴えるような工夫がある。

教科・種目	教科書名	発行者
国語	伝え合う言葉 中学国語1 2 3	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉の地図」により、該当学年の学習内容と身につけたい力とSDGsとの関連を示している。 ・「学びナビ」「学習活動の流れ」により、教材を読む前に、その教材で「何を学ぶか」を確認することができる。 ・「目標」からチェック式の「振り返り」まで見通しをもって学習する手立てが示されている。 ・「広がる本の世界」で多くの本を取り上げ、生徒の多様な興味関心をかき立てたり、読書活動を行ったりするきっかけを作っている。 ・随所に二次元コードが示されており、動画や解説など学習の参考となる資料を読み取ることができる。 ・現代社会の状況を踏まえた他教科と関連する教材が掲載されている。 ・写真や広告、SNSや映像作品などを教材に「情報・メディアと表現」として取り上げている。 ・裏表紙裏には「『ふるさと』を巡る」で、文学にゆかりのある風景を写真で紹介している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生は9単元、3年生は8単元で構成されており、学年ごとの各領域の分量は適切に配分されている。 ・各学年の、本編、資料編を合わせた構成は、小説・随筆、説明、古典、韻文、書く、話す・聞くとバランスよく構成されている。 ・「言葉の自習室」では古典の文法（発展的な学習）を扱っている。 ・二次元コードでは、ワークシート、練習問題の解答用紙、動画資料、教科書の紙面の一部が挙げられている。 ・「学びのチャレンジ」では、これまでに身に付けた力を活用できるように、「思考力・判断力・表現力」を高めることをねらいとした問題に取り組める。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解を助けるため、挿絵や図表を用いている。 ・1年生の初めの文章教材は大きい活字を使用している。教材文は明朝体が基本だが、学習内容により字体やフォントサイズを変え、視覚に訴えるような工夫がある。 ・挿絵で登場する生徒はさまざまなキャラクターをもつ生徒が登場し、多文化共生や多様性に配慮されている。 ・デジタル教科書に工夫が見られる。 ・「この教材で学ぶ漢字」として掲載される書体は、画数や筆順などが正確に理解できるように手書き文字に近づけた字体を用いている。

教科・種目	教科書名	発行者
国語	国語 1 2 3	光村図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しを持つため、学習内容を各観点、領域ごとにまとめ、他教科やSDGsとの関連や思考を整理するためのツールを示している。 ・学習を通して獲得すべき力を「学びのカギ」として示している。 ・教材の冒頭と本文の後の「学びの扉」で目標を示し、見通しをもって主体的に取り組めるように課題や具体例が設定されている。 ・教材文や資料編で読書を進めるための活動と様々な分野の本を紹介している。 ・学習の参考となる資料を読み取ることができる二次元コードが随所に配されている。 ・表現に必要な語彙が「語彙ブック」として利用しやすい形でまとめられている。 ・「書くこと」の言語活動では、情報を読み取って、様々な条件で「書く」課題を設定している。 ・「話すこと」「聞くこと」の言語活動では、主体的に聞き、対話を進めることを系統的に取り上げている。 ・ICT機器を活用した新しい授業が提案されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間、同じ単元構成がなされ、年間の系統性がある。 ・各学年の、本編、資料編を合わせた構成は、小説・随筆、説明、古典、韻文、書く、話す・聞くとバランスよく構成されている。 ・1年生の初めの内容は、ノートを取り方や辞典の調べ方など、学習を始める前に必要なことが取り上げられている。 ・3年生の「文語の活用」では、中学校の学習の範囲を超えた発展的な内容を学ぶことができる。 ・書く力を高められるように「書くことのミニレッスン」として学年ごとに二次元コードによるワークが設定されている。 ・「国語の力試し」では、これまでに身に付けた力を活用できるように、発展的な問題に取り組める。また、タブレットやパソコンでも問題に取り組むことができ、自己採点などの機能を使用できる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解を助けるため、挿絵や図表を用いている。古典の教材では年表を用いて、学習した古典作品の成立順を示している。また、資料を両観音開きで提示している。 ・1年生の初めは、教科書体の大きな活字が使われている。教材文は明朝体が基本であるが、内容によっては字体を変え、視覚に訴える工夫がされている。 ・挿絵で登場する生徒はさまざまなキャラクターをもつ生徒が登場し、多文化共生や多様性に配慮されている。

教科・種目	教科書名	発行者
書写	新編 新しい書写 一・二・三年	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙を開くと『文字を「書く」ってなんだろう』という、はっとさせられるフレーズが書かれており、手書きで文字を書くという行為が減ってきている私たちに問いを投げかけている。書写を学ぶ前に、この根源的な問いを生徒とともに考えることができ、書写を学ぶ意義について再確認することで、主体的な学習態度を促すことができる。 ・それぞれの単元に「なぜ～だろうか」等の問いがあり、生徒がその問題の解決へと向かえるような内容・構成になっている。 ・目次を見ると、1年「身につける」、2年「使い分ける」、3年「使いこなす」と明確に見やすく整理されており、発達段階にふさわしい内容となっている。 ・「1はじめに」において、小学校で学んだことが簡潔にまとめられている。 ・p34に「文字の移り変わり」があり、社会科で学習する「甲骨文字」などが紹介されている。 ・「生活に広げよう」では、それぞれの単元で学んできたことをふり返る課題（例：p60 本のポップを書こう）があり、話し合いの場面が設定されている。 ・問いの仕掛けが多くあり、見方や考え方を働かせることができる。 ・お礼状(p22~23)、年賀状(p36~37)、職場訪問(p39~41)、本のポップを書く(p60~61)、地域の活動に参加する(p65~67)など、生活体験や体験学習と関連する内容となっている。 ・表記・表現は適切である。 ・「他者と協働し、対話を通して考えを広げ深める」ことができる問題もあり、ただ「書く」だけにとどまらず「豊かに意味や価値を創造する」ことが可能である。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に応じて重点化しながら系統的に単元が配列されている。 ・各領域で指導事項に偏りは無い。 ・各領域の分量も適切である。 ・「生活に広げよう」では、単元をふり返る課題（例：本のポップを書こう）があり、グループ活動の場面が設定されており、多様な活動が見込める。 ・様々なコラムがあり、興味を引き出して自学自習を促すことも期待される。 ・デジタルコンテンツも充実しており、運筆動画にはナレーションやテロップもつけられている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や資料は、適切な量・配置がなされている ・補充資料として、「書写活用ブック」(p1~41)がある。常用漢字表と人名用漢字表が掲載され、楷書と行書が示されている。和歌山市では、市民憲章や競書会などで自分の名前を行書で書くことがあるので、活用の機会は多い。 ・本のポップや身の回りにある様々な種類の文字が資料として掲載されている。 ・誰もが見やすいつくりになっている。(ユニバーサルデザイン) ・「いろは歌」や硯、筆、墨などの伝統的な用具・用材が紹介されている。(伝統文化)

教科・種目	教科書名	発行者
書写	現代の書写 一・二・三	三省堂

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・お手本が大きく、そして筆の運びが分かりやすいため、学習目標がイメージしやすい。(例:p 3 2~3 9) 行書の学習の際に役立つ。 ・「楷書と行書を比較する」問いかけがある (p 4 6/4 8)など、解説に終始することなく問題解決的な学習を促せる。 ・字形の整え方行書の学習では、多くのページ (p 3 1~6 6) を使って丁寧に解説されており、行書が苦手な生徒でも取り組みやすい。p 4 0~4 3など「書いて身につけよう」において、繰り返し書くことで行書の特徴をつかむことが出来る。 ・「点画の種類と筆使い」では、小学校の学習内容が分かりやすくまとめられている。また、p 1 8~2 1には「字形の整え方」があり、実際に書いて復習することができる。 ・4 7都道府県名を、特産物を見ながら行書で書く (p 5 2・5 3) ページがある。 ・1年生のまとめとして「グループ新聞を作ろう」(p 4 4~4 5)があり、言語活動の充実を図ることができる。 ・p 6 2には、「楷書と行書の使い分け」があり、それぞれのケースにおいてどちらの書体で書くのが適切なのか、理由とともに話し合う課題が設定されている。 ・「グループ新聞を作ろう」、「手紙・便箋と封筒の書き方・メール」(p 7 8~8 3)、「情報誌を作る」(p 6 4~6 5)など、実生活に関連した課題が設定されている。 ・表記・表現は適切である。 ・「他者と協働し、対話を通して考えを広げ深める」ことができる問題があり、(p 4 4~4 5, 6 4~6 5, 7 4~7 5)、ただ「書く」だけにとどまらず「豊かに意味や価値を創造する」ことが可能である。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・反復的に繰り返しながら学習でき、能力の定着を図ることが出来る。 ・各領域で指導事項に偏りは無い。 ・1年の範囲がp 1 2~4 5、2年がp 4 6~6 7、3年がp 6 8~7 6とページ数にはやや偏りがある。 ・「やってみよう」では、単元をふり返る課題(例:グループ新聞を作ろう・名言集を作ろう)があり、グループ活動の場面が設定されており、多様な活動が見込める。 ・二次元コードから「姿勢と構え方/筆の持ち方」等、解説動画が見られ、家庭学習としても使うことが出来る。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・お手本が大きく、筆の運びなどが見やすい。 ・4 7都道府県名を、特産物を見ながら行書で書いたり、「身の回りの文字」として看板や祭りのチラシなどの写真が取り上げられている。 ・誰もが見やすいつくりになっている。(ユニバーサルデザイン) ・文房四宝や書の古典が紹介されている。(伝統文化)

教科・種目	教科書名	発行者
書写	中学書写	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙をめくると、「目的に合わせて書こう」というテーマで、文字の文化に親しみを持ち、豊かな文字の使い手になることを呼びかけている。また、1年生の学習では、最初に授業で使うノートの書き方の学習から始まっている。他を意識して書くという目的をはっきりと持って学習に臨むことができる。 ・目次やそれぞれの学年の表紙では学ぶ内容が一見して分かりやすく、見通しを持ちやすくなっている。 ・自らで考えるための課題や話し合いの課題が多く設定してある。また、自分が考えたことを言語化して書くワークが多くあり、言語活動の充実を促している。 ・「まとめ書き」で実際に字を書いて振り返ったり、目標に対する評価項目を「○」や「△」でチェックしたりすることでの振り返りで、目標に沿って一貫した視点で自己の学びを振り返ることができる。 ・硬筆では「試し書き」や「なぞり書き」でまず目標を意識させ、それを生かして文学を書き味わうことができるようになっている。 ・理科のレポートを書いたり総合学習で新聞やポスターを書いたり、国語の古典の文章や詩を書いたりなど、書写で学んだことを他教科で活用することができる例が多く取りあげられている。 ・学習の前に「書写を通して学んでいくこと」が一本の木で表されており、「効果的に書く力を身につける」ためにどういう力を付けていけばよいか、さらにその力の基礎（根）の部分で気を付けるべきことが系統的に示されている（P 1 2）。 ・P 5 2「あの人が残した文字」では、著名人の肉筆を見て味わうことで、手書きの文字の味わいや魅力を感じられるようになっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学年において学ぶ内容が大きく1～3つの单元ごとで構成されている。 ・図表や写真も多くあるが、それぞれの内容ごとに細やかな説明が多くされている。 ・電子メールやエアメール、包み紙など、多様な場面に合わせた文字の活用について、発展的な内容が「書式の教室」（P 1 0 8～1 2 0）として多く紹介されている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化や各地域の名所等に触れられる工夫が本編やコラムで取り扱われている。 ・資料編「小・中学校で学習した漢字一覧表（行書）」は部首別の配列にすることによって、漢字の構成を意識させ楷書と行書の理解、応用を促している。 ・動画でのサポートも充実している。

教科・種目	教科書名	発行者
書写	中学書写一・二・三年	光村図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に3年間の目標が示されており、見通しが持ちやすい。 ・「考えよう」→「確かめよう」→「生かそう」の順で学習の進め方が示され、自らの力で課題に向かうことのできるような内容になっている。 ・目標達成までのポイントが簡潔にまとめられている。 ・目次を見ると、1年「読みやすく書くための楷書」「読みやすく速く書くための行書」、2年「読みやすく速く書くための行書」「文字を使い分ける」3年「文字を使い分ける」「未来へ向かって」とあり、各学年の発達段階に対応するとともに、振り返り・定着を促す内容となっている。 ・中学校の内容に入る前に書く時の姿勢や筆の持ち方、毛筆学習についての必要性を示し、学びに向かう意識を高めている。また、小学校で学んだ内容を確認できるようなページ（P36）もある。 ・それぞれの単元の終わりや学年があがるタイミングで、国語や総合、学校生活で書写で学んだことを活用できる例を多く挙げており、実際の学校生活ともリンクしやすい。また、その際の活動の進め方も明記されており（P64、98等）、言語活動の充実にもつなげることができる。 ・SDGsや防災、ユニバーサルデザインについてもコラムが生まれ、生徒たちの多様な興味・感心に即した内容となっている。 ・動画でのサポートが充実している。 ・「行書スイッチ」の課程を経ることで、楷書と行書との違いや行書の特徴がわかりやすくなっている。また、その様子を動画でも確認できる。 ・擬音（「びょん」「びたっ」）を用いることで、運筆のイメージがわかりやすい。表現も適切である。 ・1つの学習内容につき、1つの「学びのカギ」が簡潔に示されており、その時間の活動と留意点が一見してわかるようになっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・取り外し可能な「別冊書写ブック」が付属しており、教科書本編と併用することで書くことに特化した学習ができる。 ・図表や写真が多く、説明も簡潔なため、多くの生徒に見やすい構成・配列となっている。 ・各学年や項目ごとに学ぶ内容や振り返り（評価）のポイントが短い言葉で示され、理解・意識しやすいものとなっている。 ・手紙やはがき、入学願書などの「日常に役立つ書式」が多く提示されており、学習したことを実感できる構成となっている。また、長い文章の課題は本編・書写ブックともに国語で学ぶ教材とリンクしているため、生徒たちも身近な文章としてなじみやすい。 ・「心情を表す言葉」「ことわざ・慣用句」など、語彙を増やせるような項目もあり、国語の面からも学びが広がる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化が進む中、手書きのよさを考える漫画により手書きのよさや自分の書く字について改めて考えたり、話し合ったりする活動を促している。 ・筆で書いている過程が朱筆と薄墨で示されていたり、動画で確認したりすることでイメージしやすくなっている。 ・毛筆学習では筆圧を数値化したり太さで示されたりしていることで、文字のどの部分で何に注意を払えば目標に近づけるかが視覚的に示されている。 ・「常用漢字」「人名漢字」の一覧がついており、日々の学習や生活の中で活用できるようになっている。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（地理的分野）	新編 新しい社会 地理	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の学習を、単元全体を貫く問いである「探求課題」と探求課題の解決を補助する問いである「探求のステップ」、1 単位時間の学習のめあてである「学習課題」の3段階の問いで構造化し、細かいステップで課題を解決する学習の流れになっている。 ・第2編第2章「世界の諸地域」では、導入でSDGsをとりあげ、それぞれの州がかかえる課題と深くかかわっていることを考える内容になっている。 ・アジア州は「経済成長」、ヨーロッパ州は「統合する未来」、アフリカ州は「歩み（歴史）」、北アメリカ州は「移民と経済」、南アメリカ州は「開発と環境保全」、オセアニア州「他地域との結びつき」から探求課題を設定する。 ・地域調査のしかた「地形図の使い方」では、平成27年の地形図を用いている。 ・日本の諸地域では、九州地方は「自然環境」、中国・四国地方は「交通・通信」、近畿地方は「人口 都市・村落」、中部地方は「産業」、関東地方は「交通・通信」、東北地方は「生活・文化」、北海道地方は「自然環境」という視点に注目して考察する。 ・日本の領域について、学習指導要領解説に基づいて適切に記述されている。地理的事象の説明のみで、歴史的経緯にはあまりふれていない。 ・地域の将来像を構想する「地域の在り方」については、広島市をとりあげ、「観光から見た広島の課題」について、生徒が発表する例が掲載されている。 ・「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマに関する特設ページやコラムを掲載し、持続可能な社会の実現のために解決すべき課題を様々な題材からとらえられる。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・地理学習の導入に1時間、第1編世界と日本の地域構成では13時間、第2編世界のさまざまな地域では39時間、第3編日本のさまざまな地域では57時間（うち第4章地域の在り方5時間）、予備の5時間を入れて全体の配当時間は115時間で構成されている。 ・小集団で参加型学習「みんなでチャレンジ」で、話し合いなど対話的な活動が、28か所設けられている。 ・二次元コード127か所あり、ほぼ1時間に1～2個のデジタルコンテンツを利用できる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「世界の食事を見てみよう！」では各国（地域）の伝統料理の写真が15枚掲載され、食文化についてもふれられている。 ・巻末には、世界の主な家畜・鉱産物・農産物が掲載され、用語解説も2ページ設けられている。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（地理的分野）	中学社会 地理 地域にまなぶ	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・第2編第2章「世界の諸地域」や第3編第3章「日本の諸地域」では、章ごとに州・地方に関する写真資料からイメージをつかむ【導入ページ】→州・地方に関する自然環境を学習する【…をながめて】→州・地方ごとに学習課題を設定・追求する【本編】→課題を解決し、学びを深める【学習のまとめと表現】という構成になっている。 ・第2編第2章「世界の諸地域」では、州ごとに学習テーマを設定している。また、アジア州では「人口」、ヨーロッパ州では「環境」、アフリカ州では「人口・食糧」、北アメリカ州とオセアニア州では「多民族の共存」、南アメリカ州では「環境・都市」という地球的課題が設定され、学習テーマと地球的課題の両側面から学習を深めていく。 ・第3編第1章「地域調査の方法を学ぼう」では、名古屋市を例に挙げ、6つの視点から調査を行い、防災対策を絡めながら地域学習を進めるように工夫されている。 ・第3編第3章「日本の諸地域」では、九州地方では「自然環境とその保全」、中国・四国地方では「人口集中や人口減少」、近畿地方では「歴史」、中部地方では「産業」、関東地方では「交通・通信」、東北地方では「地域の伝統文化と産業の変化」、北海道地方では「自然環境と関連する産業」という学習の視点が設定され、単元をふり返る際の柱としている。 ・第1編「日本の地域構成」では、日本の領域や領土について学習指導要領に基づいた適切な記述がなされている。北方領土については、歴史的経過や現在の状況を地図や写真などの資料を用いて補足している。竹島や尖閣諸島についても、政府の認識を明確に示している。 ・第4章「地域のあり方」では、熊本県水俣市を例に、調査テーマごとに班をつくり、それぞれの班が発表資料を作成し、最終的に1つにまとめ発表するという流れで構成されている。プレゼンテーションの工夫の仕方なども紹介されている。 ・SDGsについては、第2編「第2章世界の諸地域」では、単元ごとに地域特有の課題が提示されている。第3編「第3章日本の諸地域」では、持続可能な地域づくりのために解決すべき課題を8ページにわたって紹介している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで1単位時間の構成で、世界と日本の地域構成で9時間、世界のさまざまな地域で36時間、日本の様々な地域で58時間、計103時間で構成されている。 ・二次元コードが29箇所あり、各単元に二次元コードから様々な統計資料や外部機関のデータにアクセスできるような工夫がされている。特に地図の読み取りや、地形図の比較は動画での説明がされている。単元ごとのふり返りも二次元コードから、クイズ形式で取り組めるようになっている。 ・世界地理では27箇所、日本地理では22箇所、発展的な学びにつなげるためのコラム欄があり、ロシアとウクライナの戦争問題等、最新の課題も多く取り上げられている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や統計資料は、2010年以降の、比較的新しいデータを掲載している。 ・教科書後方に用語解説が、6ページにわたり、世界地理・日本地理に分かれて掲載されている。世界の主な家畜、鉱産物、農産物の写真もカラーで掲載されている。 ・ハザードマップについては、第3編第2章「日本の特色と地域区分」の中で紹介されており、基本的な見方について解説されている。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（地理的分野）	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	帝国書院

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域では、州ごとに【導入（写真）→自然環境→歴史・文化→産業及び課題→学習のふりかえり】という構成になっている。単元のはじめには「写真で眺める〇〇州」を設けている。単元のまとめの「学習を振り返ろう」では思考ツールを活用している。 世界の諸地域では、アジア州では「都市・居住の問題」、ヨーロッパ州では「経済格差」、アフリカ州は「食料問題」、北アメリカ州では「生産と消費の問題」南アメリカ州では「熱帯林の破壊」オセアニア州は「多文化の共生」を地球的課題と設定し、学習を展開している。 地域調査のしかた「地形図の使い方」では、令和4年の地形図を用いている。 日本の諸地域では、地方ごとに【イラスト地図や写真で導入→自然環境→注目する視点→生活・産業など→学習の振り返り】という構成で、冒頭には地域の表情が見える写真やイラスト地図を設けている。 九州地方は「自然環境」、中国・四国地方は「交通・通信」、近畿地方は「環境保全」、中部地方は「産業」、関東地方は「人口や都市・村落」、東北地方「生活・文化」、北海道地方は「自然環境」という視点に注目して考察する。 日本の領域について、学習指導要領解説に基づいて適切に記述されている。歴史的経緯や、現在の状況など写真や地図を用いて説明している。 地域の将来像を構想する「地域の在り方」については、兵庫県神戸市をとりあげ調査結果の分析に加え、「プレゼンテーション資料の作り方」の例を掲載している。 特設ページとコラム（31か所）の「未来に向けて」では持続可能な社会の実現に向けての取り組みを「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」「平和・安全」「情報・技術」「伝統・文化」の6テーマで設定している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> 配当時数については、第1部世界と日本の地域構成は8時間、第2部世界のさまざまな地域41時間、日本のさまざまな地域56時間、地域の在り方5時間、予備5時間で合計115時間の構成。 地図帳活用を56か所設置している。 二次元コードが63か所あり、写真や学習内容とリンクした「見通しスライド」「図解アニメーション」「ワークシート」、また「用語解説」「統計資料」「NHK for school」などのコンテンツがある。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> 防災に関する地理的技能を習得するためにハザードマップ読み取りの作業を設けている。ハザードマップが大きく掲載されている。 巻頭にはSDGsの17の目標とその実現に向けた取り組みを、巻末には世界の家畜・鉱産物・農産物を紹介している。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（地理的分野）	中学社会 地理的分野	日本文教出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・第2編第2章「世界の諸地域」や第3編第3章「日本の諸地域」では、章ごとに、地域の概要をつかむ「大観ページ」→単元を貫く問いを立てる「導入ページ」→学習課題を追究する「本文（追究）ページ」→問いを解決し、ふり返り、学びを深める「まとめ・ふり返りページ」という構成になっている。 ・第2編第2章「世界の諸地域」では、アジア州は「人口や経済発展」、ヨーロッパ州は「国境をこえた統合」、アフリカ州は「自立のための開発と国際協力」、北アメリカ州は「世界に影響をあたえる産業」、南アメリカ州は「開発と環境保全」、オセアニア州は「多文化社会」をそれぞれ主題として設定している。また、主題に関連付く「地球的課題」をそれぞれ取り上げている。 ・第3編第1章「地域調査の手法」では、京都府伏見区を例として取り上げ、「地域の特色をつかむための五つの視点」をもとに、地域を調査し、発表するまでの手法を示している。また、地形図は奈良市（2023年3月）が例として掲載されている。 ・第3編第3章「日本の諸地域」では、九州地方は「自然環境」、中国・四国地方は「交通・通信」、近畿地方は「歴史的背景」、中部地方は「産業」、関東地方は「人口や都市・村落」、東北地方は「持続可能な社会づくり」、北海道地方は「自然環境」をそれぞれの地域の考察の仕方として設定している。 ・第1編第2節「日本の地域構成」では、日本の領域や領土について学習指導要領に基づいた適切な記述がなされている。北方領土および竹島については、歴史的経過や現在の状況を地図や写真などの資料を用いて説明を補足している。また、尖閣諸島についても政府による認識が明確に示されている。 ・第3編第4章「地域の在り方」では、宮崎市を例として取り上げ、地域の在り方を多面的・多角的に構想するようにしている。 ・「持続可能な社会」について、巻頭1・2でSDGsを取り上げるとともに、「議論してみよう」や「持続可能な地域をめざして」など関連の深い箇所にSDGsマークを付している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで1単位時間の構成で、配当時数は、地理学習の導入に1時間、世界と日本の地域構成に12時間、世界のさまざまな地域に36時間、日本のさまざまな地域に60時間、合計109時間となっている。 ・ほとんどのページに二次元コードが付されており（計139箇所）、タブレット端末などを活用したデジタル教材とリンクしている。デジタル教材の中には、編や章ごとに「ポートフォリオ」や白地図、確認小テスト、動画教材が用意されている。また、紙面上には「地理+α」（40箇所）や「スキルUP」（27箇所）など主体的に学習に取り組む態度や技能を養う内容が用意されている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭3・4では、「いちご農家」を題材に農村地域と都市地域の自然環境や生活環境をイラストで表現し、①位置や分布②場所③人と自然とのかかわり④地域どうしのつながり⑤地域という五つの「地理的な見方・考え方」について説明し、問いを用いながら学習を進めている。 ・巻末には、「世界の国別資料」・「日本の県別資料」の統計資料や、「用語解説」、「世界の家畜」・「世界の鉱産資源」・「世界の農産物」の写真資料が掲載されている。 ・「ハザードマップを活用しよう」では、愛知県北名古屋市のハザードマップを取り上げ、避難ルートを考える学習活動を行うようになっている。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的文野）	新編 新しい社会 歴史	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各章のはじめに導入活動として、資料が掲載されており、「小学校で習ったことば」、「資料の読み取り」、「みんなでチャレンジ」という問いが設定されている。また、「探求課題」という形で章を貫く問い、「探求のステップ」という形で各節の課題が示されており、学習に見通しを持つことができるようになっている。章末のまとめでは、導入で示された「節の問い」に対して、「確かめよう」、「ふり返ろう」、「深めよう」の流れで構成し、本市のめざす子供像の一つである「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる。 ・見開きの2ページの中で、「学習課題」「本文」「資料」「チェック&トライ」を配置し、学習の流れがわかりやすくデザインされており、学習に取り組みやすくなっている。 ・小団体での参加型学習「みんなでチャレンジ」を活用することで、対話を促し、深い学びを実現できるような工夫がなされている。 ・現代的な諸課題を自分事としてとらえるために、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つの視点でとらえ、様々な課題や克服のための取り組みを扱っている。 ・ルビは平易な漢字にも振っている。また、漢字文化圏の国（中国・韓国等）の人名・地名には、おおむね、上に日本語読み、下に母国語読みの2種類のルビを振っている。 ・「この教科書の使い方と学び方」の中で、この教科書では、世界の国の名称を省略して示していることを明記している。 ・もくじの中で、火山の噴火や地震・津波などの災害の写真の写真を扱っていることを担当の先生、保護者の方に配慮をお願いしている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で287ページ。 ・原始から現代の流れで構成されている。 ・各時代が目次と共通した色で表記されている。 ・各時代の分量については、近代が多く、現代が少ない。 ・他分野・他教科との関連を図った学習として「リンクマーク」が紹介されており、二次元コンテンツの中で、その分野や教科の教科書の紙面を確認することができる。 ・巻頭、各章、各節ごとに二次元コードが用意されており、二次元コンテンツも「知識の確認」「解説動画」資料を拡大する「D-Zoom」「思考ツール」「白地図」「リンク集」「用語マスター」など、様々な専用コンテンツが用意されており、家庭学習においても、デジタルデバイス等で確認しやすいサイト構成になっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を用いたり、資料が大きく見やすい。 ・ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字に縁取りをしたり、凡例を使用せずに図中に直接示したりしている。また、グラフでは、読み取りにくい破線や点線を減らしている。 ・再生紙・植物油インキを使用。環境に配慮しつつも、読みやすく、耐久性を高めている。 ・和歌山県に関連する資料を掲載している。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	中学社会 歴史 未来をひらく	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の初めに章を代表する資料が掲載され、導入資料を読み解く問いが示されている。 ・その時代の変化に注目するポイントが紹介され、見方・考え方を導くヒントが示されている。 ・これから学習する時代の簡易な年表や地図が示され、見通しを持ちやすくする工夫がなされている。 ・各章・各節の学習の見通しと、問いと資料が示されている。 ・「HOP」「STEP」「JUMP」の段階を経て、思考力・表現力・判断力を高める活動が設定されている。 ・「まなびリンク」として、各章の初めに「役立つリンク集」や「歴史クイズ」「歴史の技」「資料や地図の読み取り方」などが二次元コンテンツとして用意されている。 ・「各章の構成と学習の流れ」で教科書の基本構成、学習の流れを、「本文ページの見方・使い方」で本文ページの資料や学習方法などが紹介され、本市の「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」というめざす子供像につながる。 ・ルビは平易な漢字にも振っている。また、漢字文化圏（中国・韓国等）の人名・地名には、おおむね、上に日本語読み、下に母国語読みの2種類のルビを振っている。 ・国名の表記については、漢字1字に略して表記することがある旨を、目次最後の「表記の説明」に記している。 ・小学校の教科書で登場した人物にはマークを記している。 ・他教科と関連する学習内容は含まれているが、特別な記載はない。地理や公民につながる内容にはマークを記載。 ・「身近な地域を調べよう」として、地域の歴史や生活体験と関連付けた内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で298ページ。 ・各ページ横に解説文が掲載。 ・原始から現代の流れで系統的に構成されている。 ・各時代を目次と共通した色で表記している。 ・各時代の分量については、近代が多め ・問いを軸として課題解決的に追究していく構成となっている。 ・章末において、各時代の特色についてふり返り、時代の変化を考察し、「見方・考え方」を働かせた学習になるように工夫されている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の横幅が広いので、資料が見やすく配置されている。 ・二次元コードを23か所に掲載し、「まなびリンク」として学習に活用できるように工夫している。 ・再生紙を使用、植物油インキで印刷されている。 ・UDフォント・ユニバーサルデザインとなっている。 ・和歌山県に関連する資料を掲載している。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	帝国書院

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各章のはじめに「タイムトラベル」として、ページいっぱいにイラストが掲載されており、時代のイメージを視覚的に捉えることができる。さらに、「章の問い」を設け、学習に見通しを持つことができる。原則見開きの2ページが1単位の時間の内容。「学習課題」、本文、「確認しよう」、「説明しよう」の流れで構成し、章末には、「学習を振り返ろう」を設けており、本市のめざす子供像の一つである「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる。 ・各章末には、章のはじめに設けた「章の問い」について、思考力・判断力・表現力を用いた課題で振り返るために、3つのステップで考察できるよう工夫している。 ・見開きの2ページの中で、まず、課題を提示することで解決すべき事柄を把握し、キャラクターの吹き出しの問いや「確認しよう」、「説明しよう」の問いで課題追究の視点や方法を示すことで、解決に導く構成となっている。 ・各章の導入で、小学校で学習した内容や人物を、年表とともにイラストで示し、各ページにおいては、小学校で学習した人物や語句を、ページの下に青色で記載している。 ・他教科と関連する学習内容は含まれているが、特別な記載はない。 ・見開きの2ページの中の「説明しよう」や各章末の「学習を振り返ろう」で言語活動の充実を図る工夫をしている。 ・「未来に向けて」のコラムが設けられており、現在の私たちの生活と関連のある事柄について記載している。 ・ルビは平易な漢字にも振っている。また、漢字文化圏の国(中国・韓国等)の人名・地名には、上に日本語読みと下に母国語読み(カタカナ)の2種類のルビを振っている。さらに、国名を略称で表すこと、中国・朝鮮半島・地名のうち、現在使われている地名は、現地語読みを優先していること、国名・人名は日本語読みを優先していることを目次で説明している。
構成配列分量 補充発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で314ページ。 ・原始から現代の流れで構成しており、小学校での学習内容や地理や公民と関連する内容については、欄外に表記している。 ・各時代を目次と共通した色で表記している。 ・各時代の分量については、原始と現代が少なく、近代が多い。 ・章末の「学習を振り返ろう」の中で、「話し合っ「章の問い」を考察しよう」があり、グループでの対話を促す工夫をしている。 ・章の学習を振り返るまとめのページ「学習を振り返ろう」が設けられており、さらには見方・考え方が示されており、学習した知識や思考の過程を再確認することができる。 ・各章の導入と章末には 二次元コードを付しており、関連する動画をみることができだけでなく、ワークシートや確認クイズを活用した学習をすることができる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の横幅が広いので、資料(写真・地図・グラフ等)が大きく見やすい。 ・和歌山県に関連する資料を掲載している。 ・特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色使いになっており、読み間違いにくいユニバーサルフォントを使用している。また、軽くて耐久性に優れた再生紙を使用しライスインキで印刷している。 ・人権・多文化、環境・エネルギー、情報・技術、防災、平和・安全、伝統・文化というテーマのコラムを設けている。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	中学歴史 日本と世界 改訂版	山川出版社

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各章のはじめに導入資料として年表やその年代の要約、写真等章全体のイメージをつかみ、原則見開きの2ページが1単位時間の内容で、1単位毎に学習課題とステップアップの課題が示され、章末の「まとめ」で振り返りを行い、各時代の流れや特徴を確認するという学習の流れは、本市がめざす子供像の一つである「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる。 ・「歴史にアプローチ」では、時代を通した視点・グローバルな視点で見たテーマや、ポイントにしばったテーマなど、10のテーマを取り上げ、それぞれ多角的・多面的に考察する力を養い、歴史の理解を深めることができる。 ・見開きの2ページごとに設けた学習課題のほか、資料に課題を付けることで、課題追究の視点や方法を考えやすくしている。 ・本文の語尾が常体になっていたり、登場する人物が多かったりと、高等学校における学習にスムーズに移行できるように工夫している。 ・小学校の学習指導要領で取り上げられている人物を第1章1節で取り上げ、それ以降も既習事項を踏まえた構成となっている。 ・他教科と関連する学習内容は含まれているが、特別な記載はない。 ・ステップアップの課題や各章のまとめにおいて、表にまとめたり、自分の言葉で表現したりする課題が設けられており、言語活動の充実につながる工夫をしている。 ・現代の私たちの生活と比較して考えやすくする工夫をしている箇所がある。 ・ルビは平易な漢字にもふっている。また、漢字文化圏の国(中国・韓国等)の人名・地名には、おおむね、上に日本語読み・下に母国語読みの2種類のルビをふっている。 ・国名の表記については、第5章以降を中心に、漢字（カタカナの場合もあり）1字に略して表記することがある旨を、目次最後の「この教科書の使い方」に記している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で288ページ。 ・原始から現代の流れで系統的に構成している。 ・各時代が目次と共通した色で表記され、見開き冒頭の主題については、世界史と日本史の色分けをしている。 ・各時代の分量については、中世が多く、現代がやや少ない。 ・各ページの資料に課題を付し、対話的な学びを促す工夫をしている。 ・各章末に、まとめを設けており、各時代を振り返り、表にまとめたり、文章で表現したりする力を養うことができる。 ・二次元コード等を用いて、関連する資料を拡大して見ることができたり、約1～2分の動画を見て、理解をより深めるねらいがある。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の横幅が広いので、資料(写真・図・地図等)が大きく見やすい。 ・和歌山県に関する資料を掲載している。 ・SDGsへの配慮という観点から、「質の高い教育をみんなに」をめざし、ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。また、「つくる責任、つかう責任」という観点から、資源に配慮するという目的でページ数を抑えたり、「緑の豊かさも守ろう」の観点から、再生紙と植物油インキを使用している。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	中学社会 歴史的分野	日本文教出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各編のはじめに、その時代を概観できる資料が並べられ、さらに、年表と地図から日本と世界の結びつきを意識できる。また、編を貫く問いと各節の問いが紹介されており、学習の見通しがもつことができる。原則見開き2ページが1単位時間の内容で、「学習課題」、鍵となる「見方・考え方」、本文、「確認」、「表現」の流れで構成し、編末には「まとめとふり返り」を設けており、本市のめざす子ども像の一つである「自ら課題を見つけ、見通しをもってねばり強く学ぶ」につながっている。 ・見開き2ページの中で、まず課題を解く鍵となる「見方・考え方」を提示して、解決すべき事柄を把握し、吹き出しの問いや、「資料活用」、「確認」、「表現」の問いで、課題追及の視点や方法を示すことにより、解決に導く構成となっている。 ・小学校で学習した人物は、欄外にリンクコーナーで表記している。 ・他教科と関連する学習内容は含まれているが、特別な記載はない。 ・見開き2ページの中の「表現」や資料を活用して学び合える問いには「学び合い」マークがついており、言語活動の充実を図る工夫をしている。 ・身近な地域の歴史をグループで探究できるよう具体例を示しながら、課題の設定、調査の仕方、報告の仕方などが解説されている。また、「でかけよう！地域調べ」で実践例を紹介し、体験を通して探究できるよう工夫されている。 ・ルビは平易な漢字にも振っている。また、漢字文化圏の国（中国・韓国等）の人名・地名には、日本語読みと母国語読みの2種類のルビを振っている。さらに、外国の漢字表記のしかたについて、教科書の構成と学び方で説明している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で307ページ。 ・原始から現代の流れで構成しており、地理や公民と関連する内容については、欄外にリンクコーナーを設けて表記している。 ・各時代を目次と共通した色にしている。各時代の分量については、近代が多い。 ・資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験する「チャレンジ歴史」のコーナーを設けている。 ・二次元コードがついており、各編・各節の問いを紹介する動画やワークシート、関連資料、関連HPが確認できる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の横幅が広く、資料（写真・地図・グラフ）が大きくて見やすい。特に文化を学習するページでは見開きの4ページを使い、資料をさらに大きく紹介している。 ・和歌山県に関連する資料が掲載されている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮しており、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。また、植物油インキと再生紙を使用している。 ・「先人に学ぶ」、「各時代の女性」、「地域に学ぶ」のコラムを設け、その中でSDGsの17のゴールと関連の深いものには、マークをつけている。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	新しい歴史教科書	自由社

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の初めに一つの資料を取り上げ、キャラクターが発する疑問により、興味を持って学習に入ることができるようになっている。 ・登場人物紹介コーナーで、小学校で学んだ人物を中心に、年表風に紹介し、時代の流れを示している。 ・章末には「調べ学習のページ」により、生徒の探求を促し、「復習問題のページ」では基礎的な用語・知識の定着をはかり、「時代の特徴を考えるページ」では、課題学習をもうけて、学んだことを自分で構造化し、表現する場を、「対話とまとめ図のページ」ではキャラクターによる時代の鳥瞰・大観のための対話篇をもうけている。 ・巻頭に「日本の世界文化遺産」のページを設け、地図と写真で掲載している。 ・序章のなかの1節に「地域の歴史を調べる」のページがあり、自分達のくらす町の歴史を調査する際のポイントがまとめられている。 ・欄外に年表が置かれ、その単元で学ぶことが年表でどこに位置するかを明確に意識できるように工夫されている。 ・他教科と関連する学習内容は含まれているが、特別な記載はない。 ・ルビは平易な漢字にも振っている。漢字文化圏の国（中国・韓国等）の母国語でのルビはない。 ・見開きの2ページの中の「チャレンジ」や章末のまとめの中で、見方・考え方、多面的、多角的に見る力を育む工夫がなされている。 ・単元の概説的な記述ではまだ、歴史の深さを実感するには不足していると考えられた場合、1ページ、2ページのスペースをとって、コラムを掲載している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で303ページ。 ・原始から現代の流れで構成されている。 ・もくじの色と各時代のページ数の色がリンクしている。 ・各時代の分量については、近代が多く、中世と現代が少ない ・章末のまとめにあたる「〇〇のページ」によって、学習をふり返り、対話的な学びや、多面的・多角的に学び表現する工夫がなされている。 ・二次元コードは無い。 ・「正確な日本地図をつくった伊能忠敬」や「水泳ニッポンと1964年の東京五輪」、「日本の天皇と中国の皇帝」など、多彩なコラムをたくさん採用し、幅広い知識と教養を身につけさせる入り口となるように配慮されている。 ・見出しのタイトルに1～94の通し番号がふられている。 ・「知っとくポイント」という直接単元の内容と密接につながっているわけではないが、豆知識として盛り込まれている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の横幅が広いので、各単元で取り扱う資料が大きく見やすい。 ・まとめのページでは、様々な資料が掲載されている。 ・巻末に世界各国・王朝の興亡一覧、初代神武天皇から今上天皇に至る歴代天皇の系図が掲載されている。 ・巻末に元号→西暦早見表がある。 ・和歌山県に関連する資料が掲載されている。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	新しい日本の歴史	育鵬社

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各章のはじめに、その時代の見方・考え方を示したり、中学生のキャラクターの吹き出しで発問したりして、中学生がスムーズに学習できるように工夫している。 ・導入ページでは、「歴史モノサシ」で学習する時代の範囲を確認し、資料を用いて「鳥の目」「虫の目」で時代を見ている。本文ページでは、見開きの2ページを1単位時間とし、学習課題が示され、右下に学習のまとめとなる課題を示している。章末には、「学習のまとめ」を設けており、このような流れの学習は、本市のめざす子供像の一つである「自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ」につながる。 ・「歴史ビュー」では、本文の内容にかかわる事項について、多角的な視点での解説をしている。 ・見開きの2ページの中で、まず、課題を提示することで解決すべき事柄を把握し、イラストの吹き出しの問いで課題追究の視点や方法を示し、課題解決をしやすくしている。 ・小学校で学習した人物の振り返りを行い、歴史学習での十分な準備を行っている。 ・他教科と関連する学習内容は含まれているが、特別な記載はない。 ・見開きの2ページ右下の問いや章末の「学習のまとめ」で、言語活動の充実を図る工夫をしている。 ・「歴史新聞をつくろう」で身近な地域の歴史に触れ、現代に生きる私たちとのつながりについて認識することができる。 ・ルビは平易な漢字にも振っている。また、漢字文化圏の国(中国・韓国等)の人名・地名には、おおむね、日本語読み・母国語読みの2種類のルビを振っている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイド判で302ページ。 ・原始から現代の流れで系統的に構成している。 ・各時代を目次と共通した色で表記している。 ・各時代の分量については、原始がやや少なく、現代がやや多い。 ・学習のまとめで、グループで話し合う課題を設定したり、「歴史ズームイン」では、各章の学習をさらに掘り下げ、意見交換し、理解を深めたりできる。 ・各章末に学習のまとめが設けられており、各時代を振り返り、学習した知識や思考の過程を再確認することができる。 ・二次元コードを読み取り、情報を読み取ることができる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の横幅が広いので、資料(写真・図・地図等)が大きく見やすい。 ・和歌山県に関する資料を掲載している。 ・環境に配慮し、植物インキで印刷しており、本文用紙の一部には再生紙を使用している。また、色覚特性を踏まえ、判別しやすい色の使用や表示の工夫を行っている。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（歴史的分野）	国史教科書 第7版	令和書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入では、政治・外交・文化・産業の4つの章を貫く問いが紹介され、簡単な年表で概観できるようになっており、章末には単元をふりかえる活動や単元をまとめる問題、年表がついている。本文ページでは、節ごとの課題がまず示され、解説文があり、写真や図、文献資料などが掲載されている。 ・小学校で学習した人物と文化を思い出し、一番尊敬する人について調べ、歴史カードをつくる学習が最初に設定されている。 ・序「国史を学ぶにあたって」において、「歴史の調べ方」「歴史的な見方・考え方」などの学習の進め方を紹介している。 ・各章の時代のはじまりに、漫画絵によって興味を引く工夫がなされている。 ・他教科と関連する学習内容は含まれているが、特別な記載はない。 ・P394「歴史について議論しよう」、P404「ディベートしよう(近代)」などの章末の取り組みで、言語活動に取り組むことができる。 ・近世のまとめにみられる「展覧会にいこう」で、身近な地域で行われている、展覧会でレポートを作成するという体験活動を通して学習できる。 ・ルビは平易な漢字にも振っている。また、漢字文化圏の国（中国・韓国等）の人名・地名には、日本語読みの1種類のルビを振っている。はじめてつかわれる言葉にはルビが振られているが、二度目の時はルビがない。 ・基本的内容の列挙にとどまらず、より高いレベルの知的探求を手助けし、歴史の真理を追い求める姿勢を育成することを意識している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・A5判で463ページが白黒印刷であり、巻末に28ページのカラー資料がついている。 ・縦書きを採用し、読書する楽しみを提示しようと試みている。 ・原始から現代の流れで構成している。 ・各時代の分量については、現代が少ない。 ・各章の目次はあるが、各節の目次はない。 ・章の学習をふりかえる「まとめ」のページがあり、学習した知識や思考の過程を確認する問題がある。 ・二次元コードは、P461に1つだけある。ホームページの紹介はない。 ・従来の歴史区分を用いつつも、我が国の歴史の特色に従って、歴史の転換点を設定したと述べている。また、天皇を軸として語ることで、歴史の連続性をより実感できるように工夫したとしている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に、各時代のカラーの地図と日本美術図鑑が掲載されている。本文中の地図や資料は白黒である。グラフの掲載は少ない。 ・エルトゥールル号の遭難事件がコラムでとりあげられている。 ・教科書の課題は、我が国が古代以来、王朝交代を経ずに国家を継続できたのはなぜかである。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（公民的分野）	新編 新しい社会 公民	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間ごとに学習課題が示され、目標をもって学習できるような構成になっている。学習の終わりに、基礎事項を確認する「ワードチェック」と、探求のステップとして「ふり返ろう」「深めよう」、二次元コンテンツがあり、学びをアップデートでき定着が図れる。 ・ 各章の導入には、小学校で学習した事柄の写真や語句を紹介しており、振り返ることができる。 ・ 各章の終わりなどに「ディスカッション」「ディベート」「プレゼンテーション」といった形で、コミュニケーション能力や思考力、判断力、表現力の実践を学習することができる。 ・ 図表や資料・写真も多く、本文の内容理解に効果的である。 ・ 主体的に社会に参画するために「18歳へのステップ」では、実質資料や身近なクイズを紹介しながら学習することができる。 ・ 人権に関する記述が「部落差別の撤廃」「アイヌ民族への差別の撤廃」「在日韓国・朝鮮人への差別の撤廃」「男女平等を目指して」「性の多様性への理解」「障がいのある人への理解」「在日外国人への理解」と項目を挙げて紹介されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章の導入には、小学校で学習した事柄の写真や語句を紹介しており、振り返ることができる。 ・ 「みんなでチャレンジ」の項目があり、グループ学習や話し合い活動を通して多様な意見に触れながら学習を深め、価値判断や意思決定ができるようになっていく。 ・ SDGs「持続可能な開発目標」について、現代的な諸問題を理解し、課題解決に向け、二次元コンテンツにより工夫されている。 ・ 「インタビューコラム」が設けられ、具体的な人物の姿を通して、自分の将来の在り方・生き方について考えられるように工夫している。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色、破線や点線が少なく、配慮した色を使用している。 ・ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・ 日本の伝統文化を大切にすることの必要性、多文化共生、異文化理解の必要性についても触れている。 ・ 領土問題については、「竹島問題」「北方領土問題」「尖閣諸島をめぐる問題」と項目を挙げて詳しく紹介している。

教科・種目	教科書名	発行者
社会(公民的分野)	中学社会 公民 ともに生きる	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きごとに「学習課題」が示され、課題意識をもって学習に取り組めるようになっている。 ・本時の学習では「確認」により基礎的事項、「表現」により話し合いなどの表現活動を段階的に取り組めるようになっている。 ・学習のまとめでも振り返りと基礎の定着、表現や意見交換を通じて考えを深める活動が行われている。 ・「THINK」では社会科の基礎的・基本的な資料を読み取る技能の習得を図っている。 ・脚注には、「小学校、他分野、他教科との関連」や、「関連する SDGs」を適宜表示し、系統的・横断的な学習をしやすいようにしている。 ・用語や補足説明の必要な個所には側注解説や用語解説が設けられている。 ・「TRY」や「ウォーミングアップ！公民」では自分の生活や体験から思考する問いが設定されており、意見交換を通じて見方・考え方を深める工夫されている。 ・人権に関する記述として本文では4ページにわたり「部落差別」「アイヌ民族への差別」「外国人に対する差別」「男女の平等」「障がいのある人々とともに」と項目を分けて取り上げている。また特設ページでは「LGBT」と「ハンセン病問題」について2ページで取り上げている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・P6に系統を意識した配列図が示されている。 ・章末の「学習のまとめと表現」のページでは、学習したことを活用して考察し、構想、表現する言語活動を取り入れている。 ・「公民の窓」で興味・関心を広げ、「公民の技」で、個人やグループでの活動を通じて、技能や表現力を養うことができるようになっている。 ・二次元コード(33か所)から「教育出版まなびリンク」にアクセスすることで、授業で疑問に感じたことやより学習したい内容をこのサイトで深めることができる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・図表、写真、資料とも豊富。解説の記述も詳しい。色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色やレイアウト、ユニバーサルデザインフォントなどの配慮を行っている。 ・「日本の伝統や文化」については特設ページにも取り上げている。 ・「領土問題」に関しては、特設ページにも取り上げ、領土をめぐる今日的課題やその解決について外交の役割から考えを深める学習ができるようになっている。 ・教科書の導入部で「持続可能な開発目標(SDGs)」を紹介し、学習の中でSDGsを一つの軸として常に意識できるようになっている。 ・18歳選挙権について詳細に取り扱っている。

教科・種目	教科書名	発行者
社会(公民的分野)	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	帝国書院

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元には、単元を貫く問い「章の問い」、小単元の問い「節の問い」、毎時の問い「学習課題」が示されており、学習の見通しと振り返りがしやすい単元構成となっている。 ・見開きごとに写真やグラフなどが示されている。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えるように構成されている。 ・単元のまとめとして設定した「学習を振り返ろう」では章の問いに対して2段階のステップによって考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動が設けられている。 ・本文には必要に応じてフリガナがあり、平易な文章になるよう設定されている。 ・各章の最初と脚注に小学校での学習事項がまとめられており、脚注には他教科との関連についても、学習事項を取り上げている。 ・「アクティブ公民」を10か所設定し、さまざまな立場を踏まえてのパフォーマンス課題が設定されており、対話型の学習による言語活動の充実を図っている。 ・教科書内の随所に「見方・考え方アイコン」を設け課題解決に必要な思考力を深める工夫がされている。 ・各章の冒頭の本文は、実社会の場面を意識できる具体的なたとえを挙げており、生徒の生活体験と関連付けた内容になっている。「アクティブ公民」では社会参画を疑似体験できるシミュレーション学習が設置されている。 ・本文では最新の用語を随所に使用し、文章が構成されている。
構成配列分量 補充発展	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の導入部分には、鳥瞰図的なイラストが大きく載せられており、興味・関心を高めるような工夫がされている。 ・小学校での学習事項をもとに系統性をもって4領域がバランスよく構成されている。 ・各部の最後には「章の学習を振り返ろう」のコーナーの扱いが大きく、SDGsに関連する振り返りがある。 ・二次元コードを用いた章や節の振り返りワークシート、重要語句一問一答など家庭学習を通してみずから学習内容を深めるコンテンツが用意されている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の 特性による 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・図表が大きく、資料数が多い。また、重要語句はゴシック太字で強調されている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・デザインやインデックスにおいても、各章を識別しやすい色が使われている。 ・コラム「未来に向けて」では持続可能な社会に向けた具体的な取り組みが確認できる。 ・領土問題では、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」の項目を挙げて説明している。 ・平等権については、「アイヌの人々への差別」「在日外国人への差別」「障がい者差別」「部落差別」に「ジェンダー」を加えて4ページで項目を挙げて紹介している。 ・深い学習を進めるために「未来に向けて」や「よりよい社会を目指して」を設けている。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（公民的分野）	中学社会 公民的分野	日本文教出版

項目	観点の内容
内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きごとに「学習課題」が示され、何を学ぶかが明確に示されている。 ・見開きの「学習課題」に対応する「確認」の欄があり、知識の定着と理解を確認することができるようになっている。 ・学習課題の解決に向けての「見方・考え方」が各見開きにあり、繰り返し「見方・考え方」を働かせる工夫が見られる。 ・「アクティビティ」で「見方・考え方」を働かせる問いを考えることで主体的・対話的で深い学びができるようになっている。 ・巻末には思考ツールの使い方の説明があり、スムーズに学習活動が進められる。 ・巻末には高校で学習する科目「公共」との接続を示している。また、他教科とのつながりへの考え方を示している。 ・イラストを用いた問いかけ、理解しやすい身近な事例等を使用し、生徒の発達段階への配慮が見られる。 ・バリアフリーの学習において、生徒にとって身近な公共施設、（SDGs 未来都市の具体的な取り組み）を例にとり、実物の「点字」を紹介している。 ・人権に関する記述として「性の多様性」を認め合う項目がある。また「男女共同参画社会」「障がいのある人への理解」「在日外国人への理解」「部落差別」「アイヌ民族への差別」「在日韓国・朝鮮人差別」に関して項目を設けて取り上げている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・全見開きに二次元コンテンツがついている。読み取ると、動画や、図・資料、確認小テスト、ポートフォリオが扱えるようになっている。 ・本文の「確認」で、予習・復習ができるようになっている。 ・編末の「チャレンジ公民」で具体的な課題や政策について考えさせている。また、「章のまとめとふり返し」では復習に適した問題を設けている。 ・「情報スキルアップ」で情報リテラシー、情報モラルを育む教材を取り扱っている。 ・「明日に向かって」では、私たちの社会参画について具体的に考えさせている
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって分かりやすいイラスト等を用い、理解を促す工夫が見られる。 ・ふりがなは全て読みやすいゴシック体である。 ・領土問題については未解決の問題等について明確に記述されている。また「公民+α」においてさらに詳細な記述がある。 ・持続可能な開発目標（SDGs）について、さまざまな場面で考えられるように配慮している。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（公民的分野）	新しい公民教科書	自由社

項目	観点の内容
内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの番号が年間を通した連番になっている。 ・ 図表、資料、グラフ、写真などは比較的少なく、文字での解説を多くしている。 ・ 生徒の発達段階に応じて、基礎的・基本的な内容を本文に組み込んでいる。 ・ 思考力・判断力・表現力を高められるよう「アクティブに深めよう」で、意見の整理や分類方法を示している。 ・ 学習課題が示され、最後に、「ここがポイント」で学習内容の要約がされている。 ・ 終章で「レポート」「卒業論文」の作成方法について紹介している。また、ディベートのやり方について紹介し、言語活動の充実を図っている。 ・ 「学習のまとめと発展」では、最重要語句を単元ごとに分けて整理している。 ・ 「平等権」「社会権」で一つの単元になっている。「平等権」について扱っている部分は、本文で3分の1ページである。また、発展的な学習としての「もっと知りたい」で「部落差別問題」「外国人参政権」について項目を設けて説明している。 ・ 領土問題については、本文の記述に加えて、「もっと知りたい」で「北方領土」「竹島」について見開きの2ページ、「尖閣諸島」について見開きの2ページと項目を設けて紹介している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な人権の「新しい人権」についての記述が、本文ではなく、発展的な学習の「もっと知りたい」で紹介されている。 ・ 日本国憲法の「天皇の役割と国民主権」の単元で「天皇」の役割について詳しく記述されている。また、「もっと知りたい」でも見開きの2ページにわたって紹介している。 ・ 基礎的・基本的な知識や技能が身につくよう、本文やコラムに関連のある「ミニ知識」を随所に配置している。また、発展的な学習として「もっと知りたい」も設けられている。 ・ 各章末に「学習のまとめと発展」があり、各単元の最重要語句を家庭学習等でふりかえることができるようになっている。また、「学習の発展」では、課題を1つ選び、400字程度でまとめる発展的な内容になっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最重要語句はゴシック（太字）になっている。 ・ ふりがながフォントに合わせて表記されている。 ・ 伝統文化については、「文化の継承と創造」の単元にふれており、さらに「もっと知りたい」で、科学、芸術、宗教について詳しく学習できるようにし、日本の素晴らしさを紹介している。 ・ 「序章：現代日本の自画像」では、現代社会の科学、芸術、宗教について項目を設けて詳しく説明している。

教科・種目	教科書名	発行者
社会（公民的分野）	新しいみんなの公民	育鵬社

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「教科書の基本構成」教科書の使い方について説明している。 ・各章の最初に「〇〇の入り口」とあり、学ぶ課題について資料等を用い、学習内容への興味・関心を促している。 ・見開きで「学習課題」が示され、課題を明確にしている。 ・「学習課題」に対応した「資料活用」「学習を深めよう」があり、「見方・考え方」を発展的な学習となる「TRY!」を設置している。 ・「スキルアップ」で発表や議論の仕方、「ロールプレイング」「ディベート」「KJ法」等についての技能が身につくよう工夫されている。 ・小学校社会科で学習した内容については、各章の扉で、地理・歴史の学習関連内容は該当する見開きで紹介し、分野の関連性を高めている。 ・「学習を深めよう」（50カ所）では、本文で学習したことを深める内容を取り上げ、知識・思考力・判断力を身につけられているようにしている。 ・人権に関する記述は、「男女の平等」「障害者差別」「外国人差別」「部落差別」「異文化理解」について項目を設けて取り上げている。また、「学習を深めよう」では、「在日外国人と多文化共生社会」「部落差別の解消に尽くした西光万吉」「アイヌ文化の継承に命をささげた知里幸恵」「ハンセン病の人間回復」等の差別について資料とともに解説している。 ・領土問題について、政府の見解を紹介し、地理・歴史学習を踏まえ記述している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・章扉に学習内容を象徴する資料、語句、小学校で学習した関連内容を紹介している。 ・各章のまとめとして「これから」で、その章で学んだ内容を生かして取り組む課題が設定している。 ・「章の学習のまとめ」で、重要語句と基本知識の定着、言語活動を行うための課題に取り組むことができるようになっている。 ・「やってみよう」では、個人やグループで行う作業や活動を紹介し、技能や表現力が身につくようにしている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・図版は色覚特性を踏まえ、判別しやすい色の使用や表示を工夫している。ふりがなにはゴシック体を用いている。 ・伝統と文化を尊重し、国と郷土を愛する態度を養うために複数ページで解説・説明している。 ・天皇についての記述が詳しく、「現代の立憲君主制のモデル」となっていると紹介している。 ・持続可能な開発目標（SDGs）に関する教材を豊富に紹介している。

教科・種目	教科書名	発行者
地図	新編 新しい社会 地図	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野をはじめ、歴史的分野や公民的分野の学習で活用できる主題図や資料を掲載しているのので、3年間の社会科学習に活用できる。 ・SDGs「持続可能な開発目標」を掲げ、本市のめざす子供像である「よりよい社会の形成者となるための力を育む」一助となるように作成されている。 ・自然災害・防災ページ（P135～136）を採用しているのので、さまざまな災害や防災への取り組みを学習でき、命を守るための知識をつけることができるようになっている。 ・北海道の地名表記にはアイヌ語を使用されている事を紹介し、原住民の文化や理解を大切にしている。本市のめざす子供像「豊かな心」を育む一助となっている。 ・巻末の「日本の周辺」では、近隣諸国と領土をめぐる問題を抱えている島々（竹島・北方領土）を地図や写真で示し、これらの地域が不法に占拠されていることに加え、現在も交渉を続けていることを明記している。 ・ページ最終部分に日本の人口、農林水産業、資源・エネルギー工業・貿易、交通・通信をまとめたページを用意し、また、それぞれの世界のページを並べることで、すぐに情報を確認することができるうえ、世界と日本の比較が行えるようになっている。 ・東京、京都、奈良などの地図は、修学旅行や校外学習の調べ学習に役立てることができる。 ・過去と現在、都市部と農村部などを比較する資料や写真が充実している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・全176ページ。 ・AB判からA4判になったことで、1ページあたりの情報量が増え、また地図も大きく見やすくなっている。その分、ページ数を少なくし軽量化している。 ・「Bee's eye」という資料活用コーナーが設けられ、図の読み深め、比較検討、発展的な学びという3つの観点から、生徒が主体的に地図を活用できるようになっている。 ・二次元コンテンツには、「Bee's eye」の解答例や、地図クイズやデジタル地図など、さまざまなデジタルコンテンツが用意されており、グループ学習や家庭学習で活用することができる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・UD フォントを使用したり、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用したりしている。 ・資料中に写真を多く使用しているのので、生徒にイメージを持たせやすくなっている。

教科・種目	教科書名	発行者
地図	中学校社会科地図	帝国書院

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「地図帳の使い方」では、小学校で学習した地図の約束（方位や地図記号、色など）を振り返った上で、地図帳の使い方を具体的に示しており、小学校で身につけた技能を生かせるように工夫がされている。 ・中学生が興味をもって地図学習に入れるように、世界の各州の資料に鳥瞰図が掲載されている。 ・江戸時代当時の地図の使用や、欄外の質問を設け、地理の時間の使用だけでなく、歴史や公民、また、理科等他の教科でも使用できるように工夫がされている。 ・SDGs「持続可能な開発目標」を掲げ、本市のめざす子供像である「よりよい社会の形成者となるための力を育む」一助となるように作成されている。 ・「日本の自然災害・防災」では、地震の震央やプレートの境界、台風のしくみなどの情報が地図上に掲載されており、理科との関連が図られている。 ・北海道の地名表記にはアイヌ語が起源とされている事を紹介し、住民の文化や理解を大切にしている。本市のめざす子供像「豊かな心」を育む一助となっている。 ・東北地方では震災時の被害状況を写真ではなく図にしており、被災者に対しての配慮がうかがえる。 ・竹島及び北方領土については日本固有の領土であると示し、さらに、「韓国・ロシアがそれぞれ不法に占拠している」と明記してある。 ・「近畿地方の歴史・文化・観光」「東京都の中心部」では、地図上にイラストで建築物がたくさん掲載されており、修学旅行や校外学習の事前・事後の学習に活用できる。 ・世界地理では、貧困や新しい産業に関する内容、日本地理では歴史・文化に関する内容が増えた。 ・多彩な絵記号を配するところで、地域で産する農産物・工業製品などを端的にとらえられる。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・全198ページ。 ・二次元コードを読み取り、地図や、統計資料等様々な情報を生徒用タブレットで確認・学習ができるようになっている。 ・日本の諸地域に関する内容配分については、近畿地方のページ数が多くなり、神戸・大阪・京都・奈良がより詳しく示されている。 ・「地図帳の使い方」では、自学自習の際の指針となるように、地図帳の基本的な見方・使い方（地図帳の構成や、方位、さくいんの使い方など）がわかりやすく解説されている。また、「地図で発見！」が自学自習に役立つように配置されている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚に特性のある生徒でも色を識別して地図が読めるように、カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・地形図や主題図が鮮明で見やすい（色使いが濃い）。 ・UDフォントを使用しているので、文字が見やすい。

教科・種目	教科書名	発行者
数学	新編 新しい数学123 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとまりごとに「学習課題」が設けられ、学習時間の区切りや指導の狙いが分かるようになっている。 ・「考えてみよう」や「深い学び」が設定されており、問題解決的な学習が様々な場面で取り組めるようになっている。 ・本文の横に吹き出しや図・式等があり、発達段階に応じて学習内容の理解をサポートしてくれる。また、節の学習後に「基本の問題」が設けられており、定着の確認ができる。学習したページも記載されているので、振り返りも容易に行える。 ・目次で算数との関連が明記されている。特に1年の最初では0章の「算数から数学へ」が設定され、九九表を利用した「整数の性質」の学習があり、算数から数学への移行がスムーズに行われている。 ・巻末の自由研究では、他教科との関連を図ることができる問題が用意されている。また、学習の途中にも「教科関連マーク」を示した問題があり、他教科との関連を意識することができる。 ・「学びをふり返ろう」や「深い学び」、「ふり返りレポート」を通して言語活動の充実を図っている。 ・「虫眼鏡マーク」で「見方・考え方」を引き出したり、意識づけたりできるようになっている。 ・章扉や節の導入では、身近で解決する必要性のある場面を設定し、興味・関心を高め、日常生活や社会の事象を数学的に捉える力が養えるようになっている。 ・誤解をまねかない丁寧な表記表現がなされている。 ・丁寧な説明を通して基本的な知識を身に付け、それを活用し自ら問題を解決したり、話し合い等の言語活動を通して他者理解や数学特有の筋道を立てた考え方を養うことができ、本市の「めざす子供像」に適した内容である。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きの目次によって、年間の学習内容の流れが理解でき、横に既習内容が併記されているので、系統性が理解しやすい。 ・指導要領にそった内容で、各領域が偏りなく構成されている。 ・「深い学び」「学びをふり返ろう」等を通してグループ活動等の様々な活動を工夫することができる。 ・「D マーク」で示された箇所ではインターネット上のコンテンツを使った学習ができる。また二次元コードが随所に導入されているため、生徒の学習意欲を高めることができ、自宅での自主学習を促す工夫がなされている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を進めるにあたり理解を深めるための図表や写真、資料の配置は適切である。 ・章や節の最初の導入において身近な資料が取り上げられている。 ・文節改行を取り入れたり、小さい文字にはUDフォントを採用するなどして読みやすく、全体的な配色についてもユニバーサルデザインに対応している。

教科・種目	教科書名	発行者
数学	中学校 数学123	学校図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各学習単位で、目標が示されており、また終わりにはどんなことができるようになったかを確認できるようになっている。 ・各章のはじめに、身の回りの生活の中にある様々な課題を発見できるようになっており、その課題を「Q」として数学の問題におきかえて、解決に向けて取り組むことができる。また、「数学的活動のページ」では、ページの端に解決する過程が示されている。 ・「例」や「問」には、図や写真、側注などを配置し、発達段階に応じて生徒の理解の手助けとなるようにしている。 ・SDGsに関連して、「さらなる数学へ」では、海面水位・フェアトレード・エシカル消費など各学年で他教科との関連が図られている。 ・また、章末や巻末で上位学年の内容にも触れられるようになっており、各学年ともに環境や国際社会など他教科との関連が図られている。 ・「Q」では、常に話し合い活動を取り入れ、対話的な学びが実現できるようにしている。また章末の「活用」や「深めよう」、巻末の「疑問を考えよう」で、発表のしかたやレポートの例を掲載したりと、言語活動の充実を図る工夫をしている。 ・まとめるページが設定されており、代表的な8つの「見方・考え方」を思考の流れとともに整理されている。 ・章のまとめの問題に、日常生活に関する問題や、環境に関する問題を取り上げている。 ・誤解をまねかない丁寧な表記表現がなされている。 ・他者と協働する工夫や、「Q」において対話を通して考えを深める工夫などがあり、本市の「めざす子供像」に適した内容となっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・目次のページや、各領域の最初のページに小学校もしくは全学年までの既習内容が記載され、学習の系統性が理解しやすい。 ・数学的活動のページでは、求め方や考え方を説明する場面があり、グループ活動等を取り入れやすい工夫がされている。 ・章末に「確かめよう」、「まとめの問題」を設け、自主的に学習しやすくするために、関連するページも記載されている。 ・二次元コードを用いて、各問題の解答や解説が記載されていたり、学習に役立つ情報などを見ることができる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容ごとに、写真やイラスト、図が数多く掲載されている。 ・各節ごとに、遊園地など身のまわりの生活にある題材を取り上げている。 ・UDフォントを使用して、読みやすくなっている。また、文章を文節改行にすることで、誰もが読み取りやすく工夫されている。カラーユニバーサル観点も取り入れ、判別のしやすい色使いをしている。

教科・種目	教科書名	発行者
数学	中学数学123	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各項ごとの学習目標がマークによって記されており分かりやすい。また例題と問の間に「たしかめ」があり、例題と類似した問題を設置することで、苦手な生徒でも達成しやすくなっている。 ・「学びのプロセスページ」を設け、問題発見・解決の過程を生徒に意識づけられるようにしている。 ・各章末に「学習のまとめ」があり、重要事項を振り返られるようになっている。その後、章の問題、学んだことを活用しよう、数学の広場と発展しており、生徒の発達段階に応じた学習ができるようになっている。 ・巻末の『学びのマップ』というページで、小学校算数と、中学校数学が領域ごとに分けられ、一覧となった図が入っているため、系統性がわかりやすく示されている。 ・『数学の広場』では、数学だけでなく他教科（歴史や英語）や実生活との関連性を持った題材が扱われている。 ・問の中に「みんなに説明しよう」という項目が多く設けられており、言語活動を充実させ、ともに学べる機会をつくっている。 ・数学的な見方・考え方を働かせたい箇所に「羅針盤マーク」を付けて、意識できるようにしている。 ・各章のはじめの「章のとびら」では、実社会や日常生活、先端テクノロジーなどの数学にかかわる話題を取り上げており、生徒が興味関心を持ちやすくなっている。また、「数学しごと人」では、社会で活躍している方へのインタビュー内容を掲載しており、数学が社会で役立っている事を実感でき、キャリア教育としても利用できる。 ・誤解をまねかない丁寧な表記表現がなされている。 ・本文が「疑問→解決の方法→新たな疑問」という形で作られており、自ら課題を見つけ、見通しをもって粘り強く学ぶことができるようになっており、本市の「めざす子供像」に適応した内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の学びのマップで学習内容の系統性がわかりやすくまとめられている。 ・学習指導要領にそった内容になっており、各領域が偏りなく構成されており、分量も適切である。 ・「みんなに説明しよう」「話し合ってみよう」のマークにより、様々な活動を促す工夫がされている。 ・巻末の補充問題・実力アップ問題では、習熟度に応じた問題を解くことができ、家庭学習の充実にもつながっている。 ・まなびリンクではデジタルコンテンツにより、動画の視聴や、図形を実際に動かすことができ、視覚的に分かりやすくなっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・文字だけでなく、様々な写真や図表が適所に配置されている。 ・Let's Tryには、実生活でよく見るような場面が設定されている。 ・文章の改行位置が工夫されており、レイアウトも整理されている。

教科・種目	教科書名	発行者
数学	未来へひろがる数学123	啓林館

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の各節内のタイトルのすぐ下に、色のついた見出しで学習目標を記載している。また、すべての節の先頭に学びの導入となる「学習のとびら」を配置されており、生徒が興味・関心をもって学習に向かうことができよう工夫されている。 ・各単元に「〇〇の利用」の節が配置されており、「身のまわりや数学の場面から問題を発見し、解決し、解決の過程をふり返って改善を図ったり新たな問題を設定したりする」という「ステップ方式」になっている。 ・二次元コードで補充問題が用意されている。また、数学広場の「力をつけよう」では、各章に高校入試問題が1問掲載されており、1年生から必要性を意識することができる。 ・適宜「ふりかえり算数」を配置し、算数の内容を確認しながら学習できるようになっている。また、数学広場の「学びをふりかえろう」において、1年生では小学校算数で学んだ内容で苦手になりやすい内容を確認できる。 ・「数学ライブラリー」や「学びをいかそう」では、他教科との関連や社会とのつながりを意識した学びができる。 ・「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」の設定があり、自分の考えを表現し、わかりやすく他者に伝えることで言語活動の充実を図ることができる。 ・『同じように考える』や『範囲をひろげる』のような標識があり、見方や考え方を働かせる工夫がされている。 ・「学習のとびら」や「〇〇の利用」では、身の回りの題材をとりあげ、生活や社会で有用に働いていることが実感できるようになっている。また、数学ライブラリーにも、数学が活用されている場面が紹介されている。 ・誤解をまねかない丁寧な表記表現がなされている。 ・自ら課題を見つけ、見通しをもって粘り強く学ぶことができるようになっており、本市の「めざす子供像」に適応した内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域系統的に指導ができるようになっている。 ・学習指導要領にそった内容になっており、各領域が偏りなく構成されており、分量も適切である。 ・「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」では、相手に説明したり伝えたりする活動があり、グループ活動等の形態を促す工夫がある。 ・「章末問題、学びをふりかえろう、力をつけよう」では、二次元コンテンツから全ての問題の解説をみることができ、個に応じた学びや家庭での学びをサポートできるようになっている。 ・二次元コンテンツの種類が「動かす」「動画」「リンク」等に分かれており、活用しやすくなっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・図表・写真等の配置、選択、分量ともに適切と思われる。 ・新しい節の学びがはじまる「学習のとびら」では、学ぶ楽しさや意義を実感できるよう身の回りの問題を取り上げている。 ・視覚の個人差で、学習の理解に支障がないようユニバーサルデザインフォントを採用している。また、読みやすく、意味の把握しやすい文章になるように、意味や文節による改行を行っている。

教科・種目	教科書名	発行者
数学	これからの 数学123	数研出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は、全体を通して行間が広く、生徒のキャラクターたちが対話しながら考えている挿絵や図・写真等も見やすくなっているため、個人で読み進めていく中で、学習内容が理解しやすくなっている。 ・活動を通して解決する「TRY」という課題が多くある。 ・「例」を考えたり「問」を解決していく際に、振り返りや必要な知識や考え方を掲載することで、解決への見通しを立てることができる。また、二次元コードで補充問題が用意されている。 ・各章のはじめには、関連する既習内容をふりかえり確認できるようにしている ・扉絵や「考えよう」では他教科との関連がはかられている。 ・生徒のキャラクターたちが対話しながら考えている挿絵が多いので、読み進めていくことで、数学的な見方や考え方を身に着けていくことができる。また、話し合いや、どのような活動をすればいいのかも理解できる。 ・章の導入時や掲載されている写真等において生活体験であり得る事象が多く、学習意欲が高まる。特に1年生の「平面図形」の作図の節では、ロールプレイング的な要素を取り入れた導入になっていて、生徒が意欲的に取り組むことができる。また、数学旅行では、人物へのインタビューや世の中の事象の中で、数学の必要性を実感できる。 ・誤解をまねかない丁寧な表記表現がなされている。 ・自ら課題を見つけ、見通しをもって粘り強く学ぶことができるようになっており、本市の「めざす子供像」に適応した内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末にある各学年までのまとめで系統性がわかりやすくなっている。 ・学習指導要領にそった内容になっており、各領域が偏りなく構成されており、分量も適切である。 ・TRY やキャラクターの発言によって、生徒が多様な考え方ができるよう工夫されていて、グループ活動での会話がしやすくなっている。 ・教科書の後半に「チャレンジ編」があり、「力をつけよう！」においても、学習ページが記載されている。また、「力をのばそう！」では、例題があり解答例を示しており、それをもとに類題ができるようにしている。 ・LINK という二次元コードで多様な生徒に合った学びができるように、「補充」「イメージ」「資料」「考察」「探究」の5種類のコンテンツが配置されている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・図表・写真などの配置、選択、分量ともに適切と思われる。 ・学習を進めるにあたり身近な事象が取り上げられており、意欲的に取り組める。 ・UD フォントを大きめのサイズで使い、文章は文節で改行し、読みやすくしている。色使い、太字、下線、枠囲いなどを使用し、大切なところをわかりやすくしている。

教科・種目	教科書名	発行者
数学	中学数学 1 2 3	日本文教出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・章の前に「次の章を学ぶ前に」が設定されていて既習内容の確認と今後の学習の見通しを立てることができる。また、学習の最初に「めあて」を明確に提示し、学習目標が理解しやすくなっている。 ・各「章の扉」では、生徒キャラクターの吹き出しを有効に用いて、身近なことから数学的課題を見出し、問題解決的な学習が促されている。 ・本文の横に吹き出しや図・式等での考えの手助けがあり、発達段階に応じて理解を深めることができる。 ・目次で算数や既習事項との関連が明記されている。また各章の「次の章を学ぶ前に」では、既習事項を確認することができる。 ・本文中にある「数学のたんけん」や巻末の「数学マイ トライ」の中にある「数学研究室」等に、他教科との関連を図る問題や読み物が用意されている。 ・小節ごとに〈話し合おう〉や〈説明できるかな?〉が適宜設けられ、「学び会おう」では巻末にあるふり返しシートや対話シートを利用し、言語活動の充実を図っている。 ・各小節の横欄〈大切な見方・考え方〉で、数学的な見方・考え方を働かせながら数学的活動に取り組めるようになっている。 ・学習する内容を「身近なことから」に当てはめ、数学的に解決していく態度を育成している。 ・誤解をまねかない丁寧な表記表現がなされている。 ・基本的な知識を活用し身近な問題を解決したり、話し合い等の言語活動の充実を通して他者理解ができ、「大切な見方・考え方」を理解することで物事の考え方を培うことができるので、本市の「めざす子供像」に適した内容である。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きの目次によって、年間の学習内容の流れが理解でき、横に既習内容が併記されているので、系統性が理解しやすい。 ・各問いに「考えよう」「話し合おう」「深めよう」等のフレーズが付いており、グループ活動等の様々な活動を工夫することができる ・学習習慣を定着させるため、また家庭でも自主的に学習できるよう、巻末に「補充問題」が掲載されている。また発展問題として「チャレンジ」また巻末には「総合問題」などが用意されている。 ・デジタルコンテンツを使うと有効な場所に、二次元コードからアクセスできる学びに役立つアニメーションやシミュレーションなどがある。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・理解を深めるための図表や写真、資料の配置は適切である。 ・SDGs やキャリア教育、防災教育などに関する内容が取り上げられている。 ・文章を読みやすい位置で改行したり、UD フォントを全面的に採用するなどして読みやすく、全体的な配色についてもユニバーサルデザインに対応している。

教科・種目	教科書名	発行者
数学	数学の世界1 2 3	大日本図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・小単元ごとに、『めあて』が設定されており、目標がわかりやすくなっている。 ・各章の〇〇の利用では、問題解決的な学習を促せるよう工夫されている。 ・『学びにプラス』では、発展的な内容を取り扱っており、より高い段階の問題も取り扱われている。 ・『もくじ』には、『これまでに学んだこと』という欄があり、小学校で学習した内容や、全学年で学習した内容が記載されており、復習をする際に役に立てることができる。 ・『活用・探究』のページでは、それまでに学習した内容を活用して問題を解決するだけでなく、他教科（理科や美術など）や防災などの実生活にも関連した問題が取り上げられている。 ・『判断しよう』や『伝えよう』などは、数学的な見方・考え方を働かせることに一躍買っており、考えたことを発表することにより、言語活動の充実にもつながる。 ・『MATH FULL』では、実生活に関連した問題が、数学とどのように関連しているかを考えるきっかけになる。 ・誤解をまねかない丁寧な表記表現がなされている。 ・生徒が思いつきそうな考えを、教科書中のキャラクターの考えとして載せることで、自分の考えと他者の意見の違いに触れることができる。また、そこから根拠を示して、順序立てて説明する力を身に付けることができるため、本市の「めざす子ども像」に適応した内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・『思い出そう』では、小学校内容の復習や、全学年での学習内容を振り返ることができるようになっており、系統性を重視した、構成・配列になっている。 ・各領域において、指導事項や分量には、偏りがないように作られている。 ・巻頭の『数学の世界へようこそ』では、各学年に応じた内容で、グループ学習を含めた、対話的な学び方の例をわかりやすく説明している。 ・巻末にある補充問題が十分にあり、生徒の自主学習を促すものとなっている。 ・二次元コードを読み込んで、ウェブサイトでさまざまなデジタルコンテンツを使えるようになっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーの写真や、絵や図を使っているため、見やすくなっている。また、その学年で学習した内容をまとめた付録がついており、次学年でも簡単に振り返ることができる。 ・各章の導入では、漫画や写真が取り上げられており、生徒の興味・関心を惹きやすい身近な問題を取り扱っている。 ・文字の大きさ、行間、文章の改行位置を工夫したり、ユニバーサルデザインを考慮したフォントを使用したりしている。

教科・種目	教科書名	発行者
理科	新編 新しい科学 1 2 3	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の流れを説明し、各説の探究の過程や、課題の把握、観察・実験、考察の順で構成されているので、学習の流れがわかりやすく、生徒が見通しを持って学べる。(各社共通) ・「社会につながる科学」は身近な疑問を取り上げたり、多様な科学の話題を提供し、科学が日常やさまざまな事象・現象と関わっていることを実感できる内容となっている。(各社共通) ・防災やSDGsについての取り扱いがあり、自分ごととして捉えられるよう工夫されている。(各社共通) ・章や単元の最後に確認問題があり、学力が定着できる工夫がされている。また、読解力問題で科学的思考を養うことができる。(各社共通) ・実験器具の取り扱いや災害時の対応についての記載がある。(各社共通)
構成 配列 分量 補充 発展	<p>◎総ページ数1年259ページ、2年307ページ、3年323ページ</p> <p>◎探究のステップがフローチャートになっており、今どのような活動を行っているのかが視覚的に確認できる。(ページのサイドや下部に記載)</p>
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・UD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用し、見やすく読み間違えにくいデザインになっている。(各社共通) ・二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツを利用することで生徒の理解度を高めたり、学習意欲を向上させたりする工夫がされている。(各社共通) ・写真やイラストが大きく豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がされている。(各社共通) <p>◎温帯低気圧の3Dペーパークラフトは付録で付いている。</p> <p>◎和歌山県内の写真2か所掲載</p> <p>1年生教科書 P222 堆積岩(砂岩) 西牟婁郡 P231 褶曲 すさみ町</p>

教科・種目	教科書名	発行者
理科	中学校 科学 1 2 3	学校図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の流れを説明し、各説の探究の過程や、課題の把握、観察・実験、考察の順で構成されているので、学習の流れがわかりやすく、生徒が見通しを持って学べる。（各社共通） ・身近な疑問を取り上げたり、多様な科学の話題を提供し、科学が日常やさまざまな事象・現象と関わっていることを実感できる内容を web ページ内「理科マス！」で閲覧できる。（各社共通） ・防災や SDGs についての取り扱いがあり、自分ごととして捉えられるよう工夫されている。（各社共通） ・章や単元の最後に確認問題があり、学力が定着できる工夫がされている。また、読解力問題で科学的思考を養うことができる。（各社共通） ・実験器具の取り扱いや災害時の対応についての記載がある。（各社共通） <p>◎全てのページに二次元コードがあり、全紙面ウェブページ化されているため、総ルビ・文節改行、母国語が日本語以外の生徒に向けて多言語化に対応している。</p>
構成 配列 分量 補充 発展	<p>◎総ページ数 1年256ページ 2年296ページ 3年296ページ</p> <p>◎自学自習用 教科書アドバイザー「理科マス！」がついており、チャットに理科の質問をすると、教科書の記述や練習問題などを AI が教えてくれる。</p> <p>◎web ページの下部に科学ニュースがあり、身近な理科的ニュースとも関連づけて学習することができる。（随時更新）</p>
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・UD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用し、見やすく読み間違えにくいデザインになっている。（各社共通） ・二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツを利用することで生徒の理解度を高めたり、学習意欲を向上させたりする工夫がされている。（各社共通） ・写真やイラストが大きく豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がされている。（各社共通） <p>◎和歌山県内の写真2か所掲載</p> <p>1年生教科書 P148「串本町（砂岩と泥岩）」 P171「白浜町（扇状地）」</p>

教科・種目	教科書名	発行者
理科	自然の探究 中学理科 1 2 3	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭で学習の流れを説明し、各説の探究の過程や、課題の把握、観察・実験、考察の順で構成されているので、学習の流れがわかりやすく、生徒が見通しを持って学べる（各社共通） ・ 「ハローサイエンス」は身近な疑問を取り上げたり、多様な科学の話題を提供し、科学が日常やさまざまな事象・現象と関わっていることを実感できる内容となっている（各社共通） ・ 防災や SDGs についての取り扱いがあり、自分ごととして捉えられるよう工夫されている。（各社共通） ・ 章や単元の最後に確認問題があり、学力が定着できる工夫がされている。また、読解力問題で科学的思考を養うことができる。（各社共通） ・ 実験器具の取り扱いや災害時の対応についての記載がある。（各社共通） <p>◎レポートの書き方や例が多数掲載されており、学習内容をまとめる際のポイントがつかめるよう工夫されています。</p>
構成 配列 分量 補充 発展	<p>◎総ページ 1年280ページ 2年304ページ 3年336ページ</p> <p>◎全社の中で最もフォントサイズが大きい。かつ、1年生の教科書のみフォントサイズがさらに大きい。</p> <p>◎本文中の重要語句や単元末の重要用語は、すべて橙色の太字で印刷されており、市販の赤シートで覆って学習することも可能である。</p> <p>◎AB 変形判（AB 判を縦に 3mm 拡大）の大判で、他社よりも文字が大きく掲載できるようになっています。</p>
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ UD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用し、見やすく読み間違えにくいデザインになっている。（各社共通） ・ 二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツを利用することで生徒の理解度を高めたり、学習意欲を向上させたりする工夫がされている。（各社共通） ・ 写真やイラストが大きく豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がされている。（各社共通） <p>◎和歌山県内の写真1か所掲載</p> <p>1年生教科書巻末資料「南紀熊野ジオパークすさみ町（フェニックス褶曲）」</p>

教科・種目	教科書名	発行者
理科	未来へひろがるサイエンス123	啓林館

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の流れを説明し、各説の探究の過程や、課題の把握、観察・実験、考察の順で構成されているので、学習の流れがわかりやすく、生徒が見通しを持って学べる（各社共通） ・「科学コラム」は身近な疑問を取り上げたり、多様な科学の話題を提供し、科学が日常やさまざまな事象・現象と関わっていることを実感できる内容となっている（各社共通） ・防災やSDGsについての取り扱いがあり、自分ごととして捉えられるよう工夫されている。（各社共通） ・章や単元の最後に確認問題があり、学力が定着できる工夫がされている。また、読解力問題で科学的思考を養うことができる。（各社共通） ・実験器具の取り扱いや災害時の対応についての記載がある。（各社共通） <p>◎3年で学習する「さまざまな物質の利用と人間」の中で、合成繊維やプラスチックについて9ページにわたって詳しく記載している。</p>
構成 配列 分量 補充 発展	<p>◎総ページ数 1年 272ページ 2年 296ページ 3年 328ページ</p> <p>◎学びの足跡として記録やふり返りができる「ふり返しシート」のデータが用意されている。</p> <p>◎1年生の教科書のみ、フォントサイズが大きい。</p>
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・UD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用し、見やすく読み間違えにくいデザインになっている。（各社共通） ・二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツを利用することで生徒の理解度を高めたり、学習意欲を向上させたりする工夫がされている。（各社共通） ・写真やイラストが大きく豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がされている。（各社共通） <p>◎巻末の「探Qシート」が各単元に1つずつ付いており、活用することで実験や観察の探究の過程を書き込むことができる。</p> <p>◎和歌山県内の写真5か所掲載</p> <p>1年教科書 P106 砂岩と泥岩（白浜町）、P108 れき岩（橋本市）、 P110 フズリナの断面（県立自然博物館）</p> <p>3年教科書 P273 南海トラフに備えた運転士の訓練（和歌山市）、 P292 天神崎（和歌山県田辺市）</p>

教科・種目	教科書名	発行者
理科	理科の世界 1 2 3	大日本図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で学習の流れを説明し、各説の探究の過程や、課題の把握、観察・実験、考察の順で構成されているので、学習の流れがわかりやすく、生徒が見通しを持って学べる（各社共通） ・「くらしの中の理科」は身近な疑問を取り上げたり、多様な科学の話題を提供し、科学が日常やさまざまな事象・現象と関わっていることを実感できる内容となっている（各社共通） ・防災やSDGsについての取り扱いがあり、自分ごととして捉えられるよう工夫されている。（各社共通） ・章や単元の最後に確認問題があり、学力が定着できる工夫がされている。また、読解力問題で科学的思考を養うことができる。（各社共通） ・実験器具の取り扱いや災害時の対応についての記載がある。（各社共通） <p>◎「つながる」というコラムでは、他教科との関連づけが明記されている。</p> <p>◎生徒が家庭で年間を通して取り組める観察や観測を、目次のページに記載している。</p> <p>◎単元のはじめの「これまで学習したこと」「これから学習すること」では、既習事項を振り返り、見通しを持った学習を行うことができる。</p> <p>◎単元の途中でも、学習に関連している既習事項を「思い出そう」というトピックで確認することができる。</p>
構成 配列 分量 補充 発展	<p>◎総ページ数 1年 293 ページ 2年 317 ページ 3年 373 ページ</p> <p>◎B5判でサイズが他社より小さいため、タブレット端末を使用しながらでも机上に収まる工夫がされている。</p> <p>◎巻末に各地の科学館、博物館の紹介があり、生徒の興味が広がるような工夫がされている。</p> <p>◎1年生の教科書のみ、フォントサイズが大きい。</p>
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・UD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用し、見やすく読み間違えにくいデザインになっている。（各社共通） ・二次元コードが記載されており、デジタルコンテンツを利用することで生徒の理解度を高めたり、学習意欲を向上させたりする工夫がされている。（各社共通） ・写真やイラストが大きく豊富で、視覚的に捉えやすい工夫がされている。（各社共通）

教科・種目	教科書名	発行者
音楽（一般）	中学音楽 1 2・3上 2・3下 音楽のおくりもの	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容が「歌唱・鑑賞・創作」の3つにわかれて配置されている。教材ごとの学びのねらい、他の曲との関連性がわかりやすく示され、各分野・領域とのつながりがわかる。 ・音楽を形づくっている要素について、鑑賞部分の最後のページに記載されている。各学年同じデザインなので、手掛かりにしやすい。 ・歌唱では、その曲と関連して比べたり深めたりする別の教材が示されており、学習を広げる手立てとなる。 ・ワークシートはどれもシンプルで、書くことが苦手な生徒も取り組みやすい。 ・より良い歌唱、合唱をめざすためのアドバイス(発声、日本語を美しく発音する練習、指揮について等)を「Sing Sing」で取り上げている。絵や図だけでもわかるような工夫されたページとなっている。 ・創作では、言葉のリズムや抑揚を生かした題材や、構成を生かした題材等、他の分野の理解や活動に生かすことができる内容になっている。生徒の興味を引くようなタイトルや色使いが工夫されている。 ・鑑賞では、西洋音楽、日本の伝統音楽を中心に、ポップス、世界の諸民族の音楽等、幅広く紹介され、詳しく学べるものから親しむためのものまで、時代や文化の違い、音楽の多様性を感じさせるつくりとなっている。 ・SDGs や他教科との関連も図られている。2, 3年生の教科書では、音楽と、生活や社会とのつながりを感じさせるページがつくられている。 ・「歌のアルバム」では、合唱曲だけでなく、伝統的な日本の歌から外国の歌、ア・カペラまで、幅広く豊富に記載されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の基本的な学習内容から発展的な学習へという配列になっていて、学習を深めやすい。 ・二次元コードが効果的につけられている。学び合いなどの授業はもちろん、自主学習、自主的な家庭学習にも効果的である。それぞれの二次元コードは「見る、聴く、記録する」が即座にわかる記号が入っている。 ・発展では音の三要素が取り上げられ、やや専門的な内容が書かれている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭見開きのページは、中学生に向けたメッセージや音楽家の音楽に対する考えに触れることもでき、興味を引く内容である。 ・巻末は見開き3ページを使い、カラー写真で楽典や楽器の種類等、詳しく掲載されて、二次元コードで各楽器の演奏を聴くことができる。 ・生徒がそれぞれの曲をイメージしたり、表現したりする助けとなるような大きく美しい写真が多い。特に「日本のうた」では歌詞も見やすくレイアウトされている。 ・「国歌」のページは他のページとは異なる紙質で作られている。歌詞の意味や歌われる場面の写真が載っている。

教科・種目	教科書名	発行者
音楽（一般）	中学生の音楽 1 2・3上、2・3下	教育芸術社

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容について、歌唱、創作、鑑賞の3つにわかれ、観点別に評価する内容が記述されている。学年が進むにつれ、その発達段階に応じて学習できるように並べられており、生徒も教師も見通しをもって学習に取り組むことができる工夫がなされている。 ・題材には、学習目標、考えたいポイント、活動文、音楽を形づくっている要素が明記されている。学習のねらいや活動内容が生徒にもわかりやすい。 ・歌唱や創作では、生徒や先生のキャラクターの会話が挿入されており、自身の思いや意図に気づくことができたり、明確にする助けとなる。さらに、それらを生かしながら「主体的・対話的で深い学び」がグループ活動の中で実現するように導く役割もしている。 ・「学びのコンパス」では、学習の手順、学習において何に注目するか、何を考えるかなどをワークシート形式で学ぶことができる。 ・創作では、課題や条件を提示することで、取り組みやすいよう工夫されている。また、二次元コードで、創作ツールやリズム伴奏、演奏例等、創作の助けとなるコンテンツが充実しており、主体的・対話的な活動が期待できる。 ・鑑賞では、実際の演奏、演奏者のインタビューの動画を見ることができたり、作曲家自身の言葉の記述があり、その音楽の良さや価値観を高める助けとなる。特に、日本の伝統音楽や郷土芸能は、写真が多く使われ、説明も丁寧である。日本文化への理解や関心を深めるつくりとなっている。 ・SDGs や他教科との関連も図られている。また、「生活や社会のなかの音や音楽」の項目では、音楽が生活や社会の中で役立つ場面を実感でき、音や音楽の大切さを感じることができる。 ・教科書の後半には、合唱曲が主であるが、日本の昔から親しまれている歌とポップスが1曲ずつ掲載されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、創作、鑑賞のページ順に色分けされ、まとめられている。また、グループ活動の中で、協働しながら学習が進めやすいように見開きで配置されている。 ・新出の音楽記号、標語を取り出し、意味を調べることができるようにページ数が書かれている。 ・二次元コードが多くつけられており、学び合いなどの授業はもちろん、自主学習、自主的な家庭学習にも効果的である。それぞれの二次元コードは「動画、音源、創作、ワークシート」が即座にわかる記号が入っている。「心の歌」では演奏と風景の動画が閲覧でき、表現力を育む助けとなる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭見開きには、対象学年の生徒へ、著名人からのメッセージが載せられており、動画でみることもできる。 ・合唱ではパート別、カラピアノの二次元コードがついており、生徒が自主的に活動しやすい。 ・インクルーシブ教育を行う上で、白を基調とした紙面、写真やイラストの配置の工夫により、誰にとっても使いやすいよう配慮されている。 ・国歌のページには、他国の国歌も尊重するという文があり、国際的な視野を広げる姿勢が示されている。

教科・種目	教科書名	発行者
音楽（器楽合奏）	中学器楽 音楽のおくりもの	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「題材」「活動のポイント」「まとめ」が見開きで示されており、学習目標を達成するための道筋が一目でわかるようになっている。 ・各楽器で、見開きを達成するごとにレベルが上がる構成になっており、見通しを持って自ら学びに取り組めるよう工夫されている。 ・リコーダーでは、リズムの難易度が高いもの（三連符・付点・16分音符・トリル・タイなど）が多いが、運指は複雑になりすぎないよう配慮されている。 ・「国際理解」「伝統文化の尊重」などの、道徳との関連が図られており、「カントリロード」の弾き歌いでは英語科との関連も見受けられる。 ・各楽器の表現の仕方について比較・整理するページでは、調べたことや考えたことを話し合い、共有するといった言語活動が充実するように工夫されている。 ・各題材で、「活動のポイント」として、音楽的な見方・考え方のヒントが示されている。また、各楽器の名手からのメッセージも、音楽的な見方・考え方のヒントとなるよう掲載されている。 ・生徒にも身近なストリートピアノのように、楽器を通じた人と人とのつながりを生み出す取り組みを紹介し、生活と社会のつながりについて考えられるよう配慮されている。 ・リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓の順で掲載され、打楽器においては、資料として、5種類の楽器の奏法が示されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・前段は<演奏の仕方を身につけよう>、後段は<合わせて演奏しよう>とまとめられている。 ・器楽の表現活動を中心とし、「音のスケッチ」（創作教材）や鑑賞教材も示されている。 ・独奏・重奏・アンサンブルの演奏や、「表現の仕方を調べてみよう」に示される協働学習など、多様な活動の形態を促す工夫がなされている。 ・「見る(動画)」「聴く(音声)」「知る(資料)」に分けられたデジタル教材によって、自主的に学びを深められるようになっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ギターのコード表が写真で示されており、指番号がわかるようになっている。 ・演奏方法について写真を多く使って説明している。 ・アニメ音楽やゲーム音楽など、生徒に身近な曲が取り上げられている。 ・平等な世界の実現への意識付けが図れるように、ESD・SDGsの取り組みに対応した教材を設定している。

教科・種目	教科書名	発行者
音楽（器楽合奏）	中学生の器楽	教育芸術社

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習目標」、「活動文」、「考えたいポイント」「学びのコンパス」が見開きで示され、学習目標を達成するための手がかりを探することができるようになっている。 ・問いかけるような表現で、「考えたいポイント」（音楽的な見方・考え方を働かせるためのヒント）が示されており、生徒が課題意識を持って主体的に取り組むことができるようになっている。 ・リコーダーでは、運指がやや複雑だが、曲のリズムが比較的易しく、聴き馴染みのある曲が多くなっている。 ・すべての教材において「国際理解」「伝統文化の尊重」「生命の尊さ」「向上心、個性の伸長」「礼儀」など、道徳との関連が多く図られている。 ・「学びのコンパス」では、言語活動のヒントになるようなキャラクターのセリフが示されており、主体的・対話的で深い学びをサポートするものとなっている。 ・音楽的な見方・考え方を働かせるための大切な視点となる「音楽を形づくっている要素」が、各教材で例示されている。 ・和楽器の合奏に取り組んでいる中学生の姿や、インタビューを示すことで、我が国の伝統的な音楽や楽器に親しみをもち、身近に感じられるような工夫がなされている。 ・リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器の順で掲載され、特に打楽器においては、15種類の楽器の奏法が示されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・〈各楽器の奏法〉、〈アンサンブル〉、〈楽器で Melody〉、〈資料〉の4段構成になっている。 ・器楽の表現活動を中心とし、「My Melody」（創作教材）やリズムの即興演奏なども示されている。 ・独奏・重奏・アンサンブルの演奏や、「学びのコンパス」に示される協働学習など、多様な活動の形態を促す工夫がなされている。 ・「動画」「音源」「創作ツール」「文章、ワークシート」に分けられたデジタル教材によって、自主学習が充実するようになっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ギターのコード表が図で示されており、フレット番号が数字で示されている。 ・演奏方法を、図と写真を用途に合わせて使い分け、説明している。 ・J-POP・ディズニー・ジブリなど、生徒に身近な曲が取り上げられている。 ・我が国の伝統的な音楽に親しみながら、そのよさを感じ取り、愛着を持つことができるように配慮されている。

教科・種目	教科書名	発行者
美術	美術1 美術2・3	開隆堂

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・美術1では、最初に中学校において学ぶ内容や流れが簡潔に示され、図画工作との共通点や違いなどが示されている。 ・「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びの資料」の順に項目を分け、各ページにおいて、学習の目標が3観点「知・思・学」で示されており、「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」の3つに分けて学習内容が記載されている。 ・生徒が制作する様子や活動の流れを写真や図等を用いて示し、主体的な活動や言語活動の充実を図っている。(美術2・3P40,41P121) ・各単元で掲載されている作品は、異なる年代や国、生徒作品などを織り交ぜ、様々な見方や考え方ができるようになっている。(美術2・3P18~21) ・SDGsに関連する取り組みや情報が記載されていたり、著名な作品の制作工程なども記載されている。(美術2・3P61) ・「美術の用語」というその単元に関連する専門用語や注釈のセンテンスが記載されている。 ・「学びの資料」の項目では、美術1P58「発想・構想のヒント」やP60「鑑賞ってなんだろう」など、発想の活動や鑑賞の活動において、何度も見て学ぶことができるようになっている。 ・美術2・3P98~99「美術史の扉」では、日本と海外の美術史の特徴を、相互に関連させながら、分かりやすく掲載している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・美術1と美術2・3の2冊で構成されており、美術1は71ページ、美術2・3は127ページで構成されている。1つの単元につき、見開き2ページよりも4ページのものも多く、その分単元数を絞っている。 ・各項目において、「絵や彫刻など」は美術1が5単元、美術2が13単元、「デザインや工芸など」は美術1が5単元、美術2が9単元と、大きな偏りはなく領域ごとに単元が構成されている。 ・各単元の最初のページに記載されている二次元コードを読み込むと、映像教材や生徒作品、ワークシートが閲覧でき、授業だけでなく、家庭学習の補助としても使えるようになっている。また、二次元コードの横には、各単元と関連する「学びの資料」のページが記載されている。(美術1P48)
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙がバーコ印刷になっており、見た目や手に取った時の感触に遊び心を持たせている。 ・教科書の案内役となるキャラクターを設定して、親しみやすくなっている。 ・全体的には見出しや要点、文章などが端的にまとめられており、視覚的に理解しやすい構成になっている。また、色合いなども統一感を出して見やすくしている。(美術2・3P24,25) ・インクルーシブデザインやユニバーサルデザインに関連する内容が掲載されている。(美術2・3P72,73、P80,81) ・レイアウトやバランスに抑揚を持たせて、単調にならないように工夫されている。(美術2・3P24,25)

教科・種目	教科書名	発行者
美術	美術1 美術1資料 美術2・3	光村図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている資質能力の3つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を全ての単元において「目標」として設定している。 ・美術1では、日常の中の美しいものや心惹かれるものなど、生徒の日常に側した題材が多く扱われている。美術2・3では社会問題や美術史年表など、より深まった内容を多く取り扱っていて、発達段階に配慮した構成となっている。 ・他教科と関りや、その関りによる教材の広がりを知りやすく説明している。道徳科は、教科書左端にマークとして示されており、より関連付けやすい。(美術1P31) ・「みんなの工夫」では、写真や吹き出しを使ってわかりやすく示し、二次元コードではインタビューを載せるなど、作者の思いがより伝わりやすく工夫されている。(美術1P17) また、鑑賞の分野の二次元コードでは鑑賞を広げる言葉集や書き込みツールなどが活用できるように設定されている。(美術1P21) ・創造的活動や美しいものに感動する体験を通して、自分と他者との関りや多様性、国際的視点、郷土の文化の継承など、豊かな心を育む内容になっている。 ・美術2・3P27～42では、本物に近い材質の紙に印刷されている。特に和歌山県の「虎(串本)」が掲載されている。 ・「防災のデザイン」の項目があり、防災知識とデザインの役割を考えることができる。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ツメ見出しで単元の内容を色で表示していてわかりやすい。適宜、鑑賞教材を掲載していて内容も豊富である。素材や道具、色彩など3年間活用できる知識・技能に関しては美術1資料として別冊にまとめられている。 ・教材に合わせ、複数人で話し合う様子やグループでの制作活動など、多様な学びの方法を示している。様々な作品やプロセスを載せていることで、興味関心を引きやすい。美術2・3の巻末には学習を支える資料一覧が載っており、思考ツールも活用できるようになっている。 ・二次元コードを多く使用し、動画コンテンツ、高精細画像、360°写真なども閲覧できるようになっている。学習内容も、写真や動画編集、タブレットを活用したものが取り入れられている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・UDフォントを使用しており、読みにくい漢字にはルビが使用されている。写真の配置も印象的でわかりやすく、生徒作品も多く掲載されているため、自然と生徒が関心を持ちやすくなっている。さらに、二次元コードでは追加で全国の生徒作品が閲覧できるようになっている。 ・伝統文化や社会問題に向き合った作品など様々な芸術作品を紹介している。 ・著作権や肖像権について注意喚起のマークがある。

教科・種目	教科書名	発行者
美術	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と深まり 美術2・3下 学びの探求と未来	日本文教出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページに「学びの目標」が掲載されており、「造形的な見方・技能」「発想・構想・鑑賞」「主体的な取り組み」の3つに関する目標がかかれていて、問題解決的な学習を促せるようになっている。何ができるようになるか、何を学ぶのかを明確にしている。 ・発達の特徴を考慮して、1年「美術との出会い」2年「学びの実感と深まり」3年「学びの探求と未来」をテーマにした構成となっている。 ・道徳の関連する題材には内容項目が記載されている。(23下P30) ・これからの社会や生活に関連させ、他教科にも関連させている。(23下P46・47) ・発想や構想、鑑賞など様々な場面でコミュニケーションをとりながら造形活動を行う項目も取り上げられている(23下P47)(言語活動の充実) ・「作者の言葉」を紹介しており、見方・考え方を働かせるための工夫がされている。(23下P5～7・P26) ・東日本大震災に関連した作品やピカソのゲルニカを載せており、社会における美術の役割など関連付けた内容である。 ・美しいものに感動する心や、豊かな感性をはぐくみ、郷土の文化を継承する心を養うような内容になっている。(和歌山市)
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての題材において、表現と鑑賞が一体的に学習できるような構成・配列になっている。 ・「絵や彫刻」「デザインや工芸など」の2つの分野に偏りはなく構成されている。 ・美術館へ行こうという項目があり、様々な美術館の取り組みや学校とのつながりを紹介している。(1P73・74) ・各ページに二次元コードがあり、作品の詳しい表現や制作方法がわかりやすく動画で説明している。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・図表や写真は大きく見やすくなっており、見開きのページではインパクトが大きく掲載されている。 ・表紙と裏表紙で1つの作品が鑑賞できるようになっている。(3冊の表紙) ・身の回りにある美術や生活に関する美術が取り上げられている。 ・マークや見出し等はペールトーンを使用し、文字も大きく見やすい。 ・色々な立場の作家や活動を紹介し、共生社会への意識を高める工夫をしている。 ・日本の伝統文化を多く紹介し、伝統工芸、伝統色、美意識を取り上げている。(23上26～29) ・「グランド・ジャット島の日曜日の午後」など原寸大の写真がいくつか掲載されており、実物のスケールを感じて学ぶことができる。

教科・種目	教科書名	発行者
保健体育	新編 新しい保健体育	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・章のとびらでは、道徳との関連と、「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」が載っており、小中高を通じた学習の系統性に配慮している。 ・項目ごとに「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」が一連の流れになっており見やすくわかりやすく興味を持って目標が達成できるように工夫している。 ・「見つける」の後に「学習課題」「キーワード」が設けられ、より自分事としてとらえ学習への意欲が高まり、めあてをはっきりとさせ授業に取り組める。 ・随所に「関連ページ」や、「他教科との関連」などのマークが掲載されており、多方面から学習を深めることができる。 ・「命や健康を守る」確かなスキルを育成するため巻末に20の技能「スキル」を掲載し、合理的・科学的に正しい方法を紹介し、解説動画も充実している。 ・コロナ禍やスクリーンタイムの増加に伴い子供たちの体力低下が懸念されている事を踏まえ、体力向上のため「体力の要素」「生涯スポーツの重要性」「健康や体力と運動・スポーツの関わり」などについて多面的に取り上げている。 ・いじめ問題や子供たちの心の安定・健康のために巻末スキルで、「コンピューターの使用法」「よりよい睡眠をとるための方法」「相談の仕方・相談窓口」を掲載している。 ・多様性を認め合う共生社会の実現に向けて、「共生」の視点からスポーツを通じた多様な関わり方や、健康や安全のための「支え合い」、「個人差・男女の偏りをなくす」、「性の多様性（SOGIEのみ）」、「SDGs」などが掲載されている。 ・「感染症」については、「SDGs」の観点からも考える工夫がされている。インフルエンザの出席停止期間や学校保健安全法施行規則にも触れ、スペイン風邪の事例から「緊急事態宣言」の必要性、「感染症の歴史」巻末スキルブックでは「手洗いの方法」「マスクのつけ方」が掲載されている。 ・本市の「めざす子供像」に適した内容となっている。
構成配列分量 補充発展	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年のまとまりになっており、保健編・体育編の順に構成されている。 ・各領域に偏りがなく構成され、見開き1時間の内容となっている。 ・ナビゲートキャラクターが学びのサポートを行っている。 ・「動画」「シミュレーション」「思考ツール」「図鑑」「章末問題」など、多彩な二次元コンテンツが約150点用意されており、思考・判断・表現等、さまざまな学習プロセスでコンテンツを活用することができ、主体的な学び、個別最適な学びを目指せる。 ・各ページ左側本文、右側資料とし、授業の流れに沿った視線の流れを意識し、見やすく・わかりやすい紙面構成になっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・UDフォントが使用され、見やすく、読み間違いがしにくい。 ・巻頭には、保健体育の学習を概観しながら、「SDGs」「テクノロジー」「情報」を切り口にした口絵を掲載している。各章末には章に関係した計25のテーマの「章末資料」、本文中には計17テーマの「読み物」を掲載し、学びを深め、興味関心が高まる工夫がされている。 ・図表・写真・資料が多く使われており、視認性を高める工夫がされている。 ・各章のとびらに「保健体育の職業」という各分野の専門家の仕事内容や経験等が書かれており、キャリア教育にもつながる。 ・人権上の配慮を行い「人権」「個人差」「多様性」に配慮している。

教科・種目	教科書名	発行者
保健体育	最新 中学校保健体育	大修館書店

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目の冒頭に「課題をつかむ」で基礎的・基本的な導入から始まり、「学習のまとめ」で対話的・協働的に学ぶことができるよう工夫されている。 ・「きょうの学習」が見開き2ページ目の上部に掲載され、学習の途中でめあてを再確認できるようになっている。 ・「性的マイノリティ」や「新型コロナウイルス感染症」「スマホ利用の増加」「防災教育」など今日的な課題を積極的に取り上げている。 ・二次元コードで関連する写真や動画をすばやく見ることができる。 ・関連サイトなどがある際は、Web 保体情報館と記され、調べ学習に役立つサイトを紹介し ICT の活用を促進している。 ・各単元の最後に「保体クイズにトライ！」が設けられ、1時間の内容をクイズ形式で振り返ることができる二次元コードがついている。 ・挿絵や資料が多く、視認性を高め情報をキャッチしやすいようになっている。 ・人体のイラストや血中の様子など、リアルにイラスト化されている。 ・章のまとめでは「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」3観点から振り返りができるように工夫されている。 ・すべての章のとびらに小学校で学習したこと、この章で学習すること、高校で学習することを明示し、系統性のある指導ができるようにしている。また、挿絵やコラムには全国の中学生に関係することを紹介するなど、生徒の興味を引くよう工夫されている。 ・コラムの内容は多岐にわたり、深い学びの追求に特化している。 ・実習単元では、二次元コードで動画を視聴できるようになっている。 ・本市の「めざす子供像」に適した内容となっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとのまとまりになっており体育理論・保健分野の順で構成されている。 ・内容、分量ともに適切に取り上げられ、見開き1時間で構成されている。 ・文章が中心に配置され、資料が周りに配置されており、文章がまとまりよく配置されている。 ・「体育の窓」「保健の窓」を各所に設けて関連を示し、「関連」「他教科」マークで教科書内の他ページや他教科に関連する内容があることを示している。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルフォント、ユニバーサルデザインを使用し、イラストや写真の配置、マークや囲みのデザインを工夫し、カラー分けを多く行うなど視認性を高めている。 ・男女の役割を固定せず、国籍や障害の有無など差別や偏見につながらないように配慮している。 ・特集資料やコラム、口絵等により、がん教育や性の多様性などの現代的な健康課題についても深く考えられるように工夫されている。

教科・種目	教科書名	発行者
保健体育	新・中学保健体育	Gakken

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・口絵で運動、食事、睡眠・休養に関わるデータや中学生へのアンケート結果を取り上げ、健康な生活を実践する態度を身に付けられるように工夫されている。 ・すべての章のとびらに「小学校」「中学校」「高校」で学習したこと、することを明示し、系統性のある指導ができるようにしている。また、学習の全体像を示し、その章に関連した「ひと・もの・こと」を紹介し、興味を引くような内容を提示している。 ・各項目に「ウォームアップ」で課題発見、「エクササイズ」で対話的な活動を通しての課題解決、「学びを生かす」で自他の生活に結び付けて考えられるように工夫されている。 ・章のまとめがキーワード表記から始まり、振り返り→確かめ問題→生かそうという順番になっており、振り返りしやすい順番で掲載されている。 ・「関連」マークで体育分野と保健分野、また他教科との関連を示している。 ・教え合い、学び合う学習活動には、「協働」マークを示している。 ・項目の最後にある「とりくメーカー」で、自分が主体的に取り組めたかどうかを書き込めるようになっている。 ・各項目ごとに「JOB」として関係する職業を明示し、キャリアについて考えることができる。 ・項目の下部に「情報サブリ」「探究」「リンク」など関連する内容を示し学習を深めることができる。 ・学習の課題が文頭に設けられており、キーワードとともに、わかる（知識）考える（思考判断）の、学習のめあてが提示されている。 ・性についての心の多様性（LGBT、SOGI）が示されている。 ・はしかや新型コロナウイルス感染症の新聞記事を載せたり、感染症発症後の登校可能日までを表に示したり、感染症対策が提示されている。 ・本市の「めざす子供像」に適した内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・体育編・保健編の内容がそれぞれ学年別にまとめられている。 ・各学年末には「まとめのページ」があり、学習を振り返ることができる。 ・内容、分量ともに適切に取り上げられほとんどが見開き1時間で構成されている。 ・ページ左に文章があり、右に資料があり、流れのある見やすい教科書配置になっている。 ・二次元コードで、動画やワークシート、外部リンクにアクセスすることができ、より詳しく学習できるようになっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・内容やレイアウト、配色（カラー）などに配慮し、視認性を高め、学びやすくなっている。また、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・登場する人物の男女比や役割、背景などに偏りがないように配慮している。 ・個人差があることを重視し、飲酒の単元では酔い方にお酒の量のイラストなどは掲示しておらず、初めての月経や射精の年齢などは、あまり個人差が感じにくいグラフで示されている。

教科・種目	教科書名	発行者
保健体育	中学校保健体育	大日本図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめに学習のねらいが明記され、学習の見通しがもてるようになっている。 ・口絵の写真でスポーツにおける「見る」・「行う」・「支える」の視点からキャリア教育につなげることができる。 ・リンクの表示に他教科への関連が書かれていてよくわかる。 ・各時間の確認と振り返りをするための「キーワード」が見開き右下に用意されている。 ・章扉で、小学校・中学校・高等学校の系統性が示されている。 ・章末の「学びを活かそう」では、主体的・対話的で深い学びが実現できる活動が設定されている。 ・「地域」「家」マークでは地域保健について考えられるように工夫されている。 ・情報活用能力・情報モラルを保健分野で学習できるよう特設ページがある。 ・デジタルコンテンツ(web サイト)でまとめ問題が用意され対応するページにマークされている。 ・各章末に学習のまとめがあり、重要な言葉が詳しく解説されている。 ・本市の「めざす子供像」に適した内容となっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論・保健分野の順に書かれている。 ・各単元、見開き1時間で構成されており、左側が本文、右側が資料となっている。 ・心肺蘇生法の実習では、折り込みが採用され、全体を確認しながら進めることができるようになっている。 ・複数の資料を比べて読めるようレイアウトが工夫されている。 ・「トピックス」では学習内容と関連が深い話題や読み物が示され、発展につながるよう工夫されている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用して読みやすいよう工夫している。 ・色彩豊かなイラストやグラフが多く掲載されている。 ・中学生が活躍し、親しみが持てる場面の写真が掲載されている。 ・オリンピック・パラリンピック教育、防災教育、食育、情報教育などの現代的な諸課題が取り上げられている。

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭(技術分野)	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDGsとTechnology」では、持続可能な社会の構築のために技術が果たしている役割を分かりやすく紹介している。 ・問題解決に取り組む際に選択する基礎的・基本的な技能を「TECH Lab」としてまとめている。 ・技術分野における見方・考え方を社会と技術の関わりを見る「技術のめがね」と技術の最適化を図る「最適化の窓」として示している。 ・机やドライバーなどの身近な題材を設定することで、技術が日常生活に多く関係していると感じさせ、興味・関心が持てるように工夫されている。 ・男女やキャラクターのイラストを登場させ、学習目標や課題のヒントになるセリフにより、より効果的に学習が進められる工夫がなされている。 ・「リンク」「他教科」「小学校」マークを用いて、教科間の連携を高める工夫がされている。 ・製図の描き方では基本的な立体を例にし、描き方の理解を定着させる工夫がされている。 ・小学校でのプログラミング学習に個人差が予想されるため、簡単なプログラムをいつでも体験できる資料が巻末に掲載されている。 ・生徒自身の問題発見のきっかけとなるようなテーマを掲げ、意欲が高まるような内容になっている。また、問題解決のプロセスを大切に紙面の構成となっており、「問題の発見、課題の設定」では、動機づけとなる漫画を掲載し、生徒自身の問題発見につながる工夫がなされている。 ・ページ下部に「技術の工夫」を多数掲載し、理解を深める工夫がされている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・基本ページでは、「目標」「始めの活動」「学習課題」「まとめの活動」などが全見開きの同じ位置に配置されている。 ・それぞれの編の各章、各節の内容は、学習指導要領の内容を踏まえて、学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述されている。 ・学習指導要領解説に示された「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の3つの要素に沿った章構成とし、学習が系統的に進められるように配列されている。 ・主体的・対話的で深い学びのために、個に応じて学習を進めたり、協働して学習を深められたりする活動例を掲載し、それぞれの場面に対応した二次元コンテンツがすべてのページに用意されている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・実習や実験に伴い、危険性がある内容には「安全」、「衛生」マークで注意喚起されている。 ・書体は全てUDフォント（ユニバーサルデザイン書体）を使用し、可読性を高めている。 ・カラーバリアフリーの観点から、配色とデザインについて検討され、写真やイラストを多く掲載し、理解や興味・関心を深める工夫がなされている。 ・「技術の匠」では、製品の開発者や技術者など、技術分野の学習に関係の深い仕事に就いている人たちからのメッセージを紹介し、生徒の勤労観・職業観を育むことができるように工夫されている。

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭（技術分野）	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト	教育図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 各編の導入部分では、生活や社会において各分野の技術がどのように活かされているのかを取り上げるとともに、小学校での学びとの接続を考えた構成になっており、各編の章末にはまとめを設け、学習を振り返って理解度を深める工夫がなされている。 各編第3章では、生活や社会の諸問題を自らの問題として捉えられるよう、環境、共生、情報モラルなどに関わる資料やコラムを掲載し、「技術」を学ぶ意義や問題解決の大切さに気づかせるようにしている。 ガイダンスや各編に安全に関するページを設けており、図解でわかりやすく解説している。 「材料と加工の技術」における製作品例では1つの作品に対して6ページを用いて詳しく解説されている。 製図の描き方は少し複雑な立体を例として取り上げている。 実習での活用が想定された技能資料が補助教材として用意されている。 プログラミングの流れをアクティビティ図で詳しく解説し、プログラムの流れを生徒が理解しやすいように工夫されている。（P204） スゴ技では和歌山市の企業が開発した編み機についての紹介が記載されている。（P167） 各編に「やってみよう」として、自ら学ぶ、グループで学ぶ問いかけの場面が設定されている。 他教科との関連をリンクマークで示し、様々な観点からの学びを促している。 特別支援学校での実習事例を記載し、特別支援教育でのガイダンスにも配慮している。（P6,7） 身近な製品に込められた工夫や開発者のインタビューを取り上げ、社会的・環境的・経済的な観点から技術を評価するなど、主体的に問題解決を図る大切さを説いている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な問題解決が図れるよう「問題解決の流れ」を4コマ漫画で親しみを持って学べるようにしている。 二次元コンテンツに動画や資料を用意し、生徒の興味・関心を促すとともに理解しやすい工夫がなされている。 社会で活躍する技術者や様々な製品に込められた技術を紹介している。 各編において第1章では「知識・技能」、第2・3章では「思考力・判断力・表現力」、第3・4章では「主体的な学びに向かう力」を養う内容構成となっている。 プログラムについての内容が豊富に扱われており、双方向性や計測・制御の学習実践例も取り扱われている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> 書体はUD書体（ユニバーサルデザイン書体）が使用されており、重要語句は視認性を上げるために、青文字で記入されている。 写真やイラストに登場する男女の比率や役割に偏りがないように配慮されている。 特許や意匠など、知的財産に関する資料を各編で取り上げている。 各単元で二次元コードが記載され、資料や動画・ワークシートなどが設定されている。 教科書の各編、各章が色付けされ、直感的に内容を索引しやすいように工夫されている。

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭(技術分野)	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	開隆堂

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> 各小項目は冒頭に「学習の目標」が設けられていて、「学習課題」「内容」「CHECK」の4段構成になっているため、実習を含め見通しの立った授業展開を行えるよう工夫されている。 問題解決の流れが巻頭に漫画形式で例示されている。また、学習で行う問題解決の流れが「問題の発見と課題の設定」「構想と設計(計画)」「製作(制作、育成)」「成果の評価と改善」で共通化されているため、問題解決能力が高まるよう工夫されている。 巻頭の資料で、情報機器を扱う際の注意点やデジタル・シティズンシップに関連する内容が取り上げられていて、情報社会を生きる生徒が、適切に情報にかかわり、授業や生活の中で積極的に活用していく態度を早い段階で養うことができるように配慮されている。 各編の冒頭に小学校や他教科とのつながりを一覧で記載しているほか、随所にそれぞれのマークを用いることでわかりやすさの工夫がなされている。連携を高められ、カリキュラム・マネジメントの実現ができるように配慮されている。 製作品を図や表を用いてわかりやすく表現するとともに、成果の発表や自己評価、相互評価を行えるなどの言語活動を充実させ、言語能力を養えるよう配慮されている。 ガイダンスで身近な具体例を挙げながら技術の見方・考え方のイメージが示されている。それと同じ形で各内容でも製品を例に見方・考え方が解説されている。さらに、振り返ることもできるようになっているため、生徒自身が活用できるように工夫されている。 実習に関しての基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるようにするため、科学的な根拠をもとに技術を理解・習得できるようにしている。 各編では、随所に環境を保全する技術、自然と共生する技術の考え方を示し、「環境の保全」に寄与する態度を養う内容が設定されている。また、持続可能な社会を実現するため自らの活動と関連させながら技術と社会・環境とのかかわりをとらえることができるよう工夫されている。 ガイダンスでは、日本の伝統的な技術を知り、先人の知恵や技能が日本の文化を支え、発展させてきたことが紹介されている。日本の伝統と文化を提示するとともに、各編のまとめでは各分野の技術にかかわる方へのインタビューを掲載するなど、生徒のキャリア形成に役立つ内容となっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> 各編の基本的な流れが、「基礎的・基本的な学習の習得」から、「技術を活用した問題解決」、「技術と私たちの未来」へと系統的に展開され、各段階で見方・考え方の思考をはたらかせながら学べるよう工夫されている。 二次元コードから読み取る学習コンテンツが全体的に配置されている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> 書体はUDフォントが全面的に使用されていて、極力単語の途中で改行しないように調節されている。 カラーユニバーサルデザインに関して、誰でも色によって受ける情報に差が出ないよう工夫されている。 各種マークや囲みが配置されていて、読み進める内容がわかりやすくなっている。また、親しみやすいキャラクターが気づきを促す、注意喚起を行うなど工夫されている。

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭（家庭分野）	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスでは、3年間の学習に興味・関心を持てるような工夫がされ、見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。 ・各節ごとに、「目標」「キーワード」「まとめの活動」が示されている。また、各章の最後に「学習のまとめ」が設定されており、学んだことをまとめたり、実践したりすることで目標を達成できたか確認し、学習を進める工夫がされている。 ・二次元コードを活用することで、動画やシミュレーションなどで疑似体験ができ、より実生活に近い形で学習に取り組むことができる。また、各節の学習のまとめでは、その編の見方・考え方に沿って設問されており、学習過程がわかりやすく示されている。 ・様々なキャラクターを用い、課題の提示や助言を行い、発達段階に応じた問題解決的な学習を促している。 ・小学校家庭科での既習事項がガイダンスや編の導入で示され、それぞれの関連個所には「小学校マーク」がつけられている。他教科との関連は「他教科マーク」で示されている。 ・「活動」や「実習例」が多く掲載され、主体的に調べたり、友人と協働して比較・検討したりできる発問が設けられている。 ・表記・表現では、基本ページに「目標」「はじめの活動」「まとめの活動」などを見開きの同じ位置に配置されていたり、キャラクターのセリフが文節改行で読みやすく工夫されていたりする。 ・和食や郷土料理、和服など伝統文化に関する内容が記述されている。 ・防災について、災害に備えた防災リュックの製作や住まいの中の地震対策の例が配置されている。 ・学習内容がSDGsのゴールのうちどれに相当するかゴールマークが示されている。 ・「自立」「共生」をテーマに「生きる力」を身に付けるための学習となっているため、本市のめざす子供像に適応した内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示されている3つの領域がBCAの配列で記載されている。学習項目はおおむね偏りなく構成され、各内容の学習に応じた適切な分量が配分されている。 ・活動例や思考ツールの例が掲載され、対話を助けて協働を促す工夫がされている。 ・「まとめの活動」「学習のまとめ」が設けられ、学習した内容を自分自身の生活に生かせる工夫がされている。 ・デジタル教材が豊富に活用できるように、全ページに二次元コードが配置されており、関連した内容をより深く学べるようになっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・実物大の写真や資料が豊富で視覚的な工夫がされている。 ・UDフォントが使用され、カラーバリアフリーの観点からも配慮されている。 ・「安全」「衛生」「マナー」「伝統文化」「防災」「情報モラル」などのマークが示されており、社会生活の様々な場面と関連させて学ぶための工夫がされている。 ・本文はさくいんを含めて291ページで構成されている。

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭科（家庭分野）	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	教育図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスでは「家庭分野の学習をはじめよう！」というタイトルで、学習指導要領の3つの領域ABCが見開きで確認できるように、写真を多く使用して配置されている。また、小学校の学習とのつながりについても各領域に配置されている。 ・ABCの領域ごとに家庭分野の学習と社会のつながりが示されたページがガイダンスの中に示されている。 ・安全に実習に取り組むために必要な項目が見開きでまとめられている。 ・節ごとに「単元名」「めあて」「キーワード」が初めに示されていて最後には「ふり返る」が設定されており、知識・技能が身につけているか3段階で自己評価ができるようになっている。また、「私の学び」という記述欄が設けられており、学習内容を自分事としてとらえられるように工夫されている。 ・統一されたマークで既習事項を関連付けたり、繰り返し活用したりすることができるように工夫されている。 ・災害に備える食品や災害時のポリ袋を使った調理例、非常持ち出し袋の制作、自然災害への備えなどが資料として掲載されている。 ・二次元コードで動画や資料、レポートのテンプレートがダウンロードできるようになっている。 ・消費者トラブルの内容では、若者の消費者トラブルの例にデジタルコンテンツによるものを取り上げ、現在の社会の状況に応じた記載がされている。また、トラブル解決のための流れがフローチャートで示されており、学習した内容を自分の生活で活用できるように工夫されている。 ・和食や和服、年中行事、郷土料理など伝統文化に関する記述や資料が各領域に掲載されている。 ・学習内容がSDGsの17つのゴールのうちどれに相当するかゴールマークがしるされている。 ・「自立」「共生」をテーマに「生きる力」を身に付けるための学習となっているため、本市の目指す子供像に適応した内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示されている3つの領域がABCの配列で記載されている。学習項目はおおむね偏りなく構成され、各内容の学習に応じて適切な分量が配分されている。 ・各章は「導入」「やってみよう（考えてみよう、話し合ってみよう）」「学びを生かそう」「学習のふり返り」の順に構成されている。 ・二次元コードが全体的に配置されている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の手順では、ポイントになる手元の写真が順に配置されている。 ・他教科の学習内容と関連付けて考えたり、学んだりする部分には関連マークが示されている。 ・家庭分野での学習に関連する内容が口絵として14ページ配置されている。本文はさくいんを含めて279ページで構成されている。

教科・種目	教科書名	発行者
技術・家庭科（家庭分野）	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	開隆堂

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスの『教科書を活用しながら学習しよう』では、学習の流れが示され、『家庭分野の学び方と身につけたい力』という見出しで、主体的・対話的・深い学びについての具体例や、生活の見方・考え方の視点のポイントが示されていたり、自立と共生について考えるページがあったり、より深い学びへと結び付く工夫がされている。 ・各節ごとに「学習の目標」が明記されており、「話し合ってみよう」「発表しよう」のような対話的な言語活動があり、身近な題材を用いた課題が設定され発達段階に応じた問題解決型学習ができるように工夫されている。学習のまとめには3観点別に問題が設定されている。まとめには記述問題もあり、自らの考えをまとめ、表現する力をつけることができるようになっている。また、二次元コードの「自己評価チェックシート」では、学習内容を振り返り自己評価ができるようになっている。 ・学習を補足したり、促したりするキャラクターや吹き出しコメント、リンクマーク、二次元コードなど問題解決のヒントや関連する事柄がわかる工夫が多い。 ・教科書全体で自立をテーマに生活を見直し改善に向けて、「あなただったらどのように対応しますか」のように自分事として考えられる課題を通じて、実生活での気づきや理解を深める工夫がされている。 ・伝統的な遊びや和食、郷土料理、和服、民家など、伝統文化に関する内容が記述されている。 ・防災教育として災害時の調理のポイントや加工食品を活用した調理実習、非常持ち出し袋の制作、災害時の生活や生活の立て直しについても取り上げられている。 ・持続可能な社会の構築の観点から、各章の最後に「持続可能な生活」の節があり、SDGsの目標と関連させている。 ・表記・表現については、ルビの配慮や問いかけの表現も多く親しみやすい。 ・「自立」「共生」をテーマに「生きる力」を身につけるための学習となっているため、本市の「めざす子供像」に適した内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示されている3つの領域がABCの配列で記載されている。食生活の内容は意図的に紙面が多くとられているが、各領域はおおむね偏りなく構成されており、学習内容にあった適切な分量が配分されている。 ・二次元コードが全体的に配置され、学習内容に関連した資料画像や調理実習の動画を自宅でも見ることができる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・視認性の高いUDフォントやカラーUDが使用されている。 ・実物大写真の使用や調理や制作の実習ページは横流れの紙面にするなど、特別支援教育への配慮もされている。 ・発展的な学習内容には世界の「食文化」、「暮らしの中のマーク」、「プラスチック汚染」に関する資料が記載されている。 ・もくじ、発展の資料、さくいんを含めて312ページで構成されている。

教科・種目	教科書名	発行者
英語	NEW HORIZON English Course 1 2 3	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ Unit の最初に Goal で目標を記載し、最後に Check で、目標を達成できたか確認できるよう工夫されている。 ・ Unit の最初に、Preview として、デジタルコンテンツで映像と音声により、その Unit で学ぶ内容や文法事項を紹介し、見通しをもって学べることができる。 ・ Book 1 Unit 0 で、小学校で学んだことを振り返る内容を掲載し、中学校での学びとつなげる工夫がなされている。 ・ 帯活動を想定した Let's Talk! のコーナーで、即興的なやり取りをする活動を設定し、言語活動の充実を図っている。 ・ 日本の伝統文化、世界の多様な文化を取り扱っている。 ・ 小単元「Real Life English」では、生徒が伝えたいと思えるように、実生活に即した場面設定にしている。 ・ 「Real Life English」のコーナーを設定し、実生活と関連の深い話題を取り上げている。 ・ 各 Unit の終末に Unit Activity のコーナーを設け、生徒が自分事として学んだことを発信し、単元のゴールを達成するよう工夫している。 ・ 多様な文化や価値観にふれる「ダイバーシティメモ」のコーナーを設定し、生徒の気づきを促している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 判型は A4 で、Book 1 170, Book 2 158, Book 3 158 ページで構成されている。 ・ 語彙は 1, 700 語取り扱い、発信まで使えるようになりたい語として、小学校 392 語、中学校新出語 408 語と合わせ、計 800 語を太字で示している。 ・ Let's Read で最長 556 語の長さの読み物教材を掲載している。 ・ Unit 本文の前に、文法の「目的・場面・状況」を表す音と映像を見て生徒の「気づき」を促すよう構成されている。 ・ デジタルコンテンツを多く取り入れ、視覚補助を使用し、解説を加え、英語の音声に慣れたり、文法理解を促進したりする工夫がなされている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図表、写真、資料をバランスよく取り入れている。 ・ すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインされている。 ・ 見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・ 絶滅危惧種動物、東日本大震災ドキュメンタリー、エネルギー問題、海外でのボランティア活動などの話題を取り上げ、環境教育、人権教育、国際理解等、現代的諸課題に対応している。 ・ 登場人物に日本人、南アフリカ共和国出身者、中国系カナダ人、イギリス人を登場させ、国際的な視野を取り入れている。

教科・種目	教科書名	発行者
英語	Sunshine English Course 1 2 3	開隆堂

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の教科書ではアクションカードが付録されており、写真を見て動詞がわかるようになっておりよく使う動詞を覚えやすくする工夫がなされている。 ・目標言語材料について、イラストや音声を使い文字を介さなくても言語機能を推測しその機能に対する気づき(noticing)を促すための配慮がなされている。 ・Retell (再話活動) を取り入れており、生徒の自主学習や発展的な英語の活用を促し、思考力・判断力・表現力を育成する効果的な工夫がなされている。 ・音読の回数を確認するための「音読 check」という項目が記載されている。 ・即興で話す力を育成するための場面が、基本的には各課に3か所ずつ設けられているため「自然で生きた英語のやり取り」を育成する力を身につけることができるように配慮されている。 ・「Our Project」の課題を達成するための単元、ステップがきちんと踏まれているため日々の言語活動がその課の最終ゴールを意識したバックワードデザインになっている。 ・題材について、1年生では身の回りのことから、3年生では世界、食べ物の歴史、ロボット (AI)、環境問題といった国際社会を生きていく日本人としての意識・感覚を養うことのできるものが幅広く取り入れられている。 ・即興で話す英語力の素地を養うため、Book 1の巻末に「クイック Q&A」という資料が取り入れられている。 ・「単語学習アプリ」が搭載され学びの個別最適化に配慮されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の教科書は170ページ、2年、3年の教科書は162ページで構成されている。 ・1年の新語数は490、2年では616、3年では558で構成されている。 ・小学校でどのような単語を学んだか一目でわかるようになっている。 ・学年別教科書を横断して習熟の段階を踏んだ計8つのパフォーマンス活動が取り入れられており4技能5領域を高めるための活動が取り入れられている。 ・誰も取り残さない学びのために自主学習として音読を促す工夫や、デジタルコンテンツではフラッシュカード機能、音声再生機能などの配慮がなされている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサル視点を取り入れ、生徒が見やすいように配慮されている。 ・ユニバーサルフォントが採用されており、文字が見やすく読み間違えにくいものになっている。 ・見開き2ページで約4～5枚、興味や関心を引くような写真や図が採用されており、主体的な学びを促す材料となっている。 ・他国の文化のみならず「お弁当」や「日本の祭り」など自国の文化について考える題材も5つ以上ある。

教科・種目	教科書名	発行者
英語	NEW CROWN English Series 1 2 3	三省堂

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・学期や学年単位で、見通しを持って学んだり、ふり返ったりするための「Can-Do リスト」が巻末に配置されている。また、言語活動のページ下部に設けた「ふり返り」を活用することで、コミュニケーション活動への取り組みを自己評価し、その後の学びに生かしていけるように配慮されている。 ・登場人物と一緒に、防災と安全について考えたり、身近な環境問題や社会問題について話し合ったり、自然や平和の大切さを感じたりする場面が設定されている。 ・1年冒頭には、小学校で聞いたり、話したりした活動に取り組む Starter を配置。小学校で学んだ語句や表現のうち、全ての中学生が話したり書いたりできるようになってほしい発信語彙は、くり返し学べるように、本文内で扱われている。 ・社会科、理科、技術・家庭科などに関連する題材や歌など、他教科との関連をもたせている。 ・各レッスンでは、深い学びにつながる課題を設定し、生徒が主体的に考えや気持ちを表現できる。また、既習事項を駆使して思考力・判断力・表現力を働かせ、ペアワークやグループワークをしながら対話的に学ぶことができる。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・1年に9課、2年に8課、3年に8課を配当し、各課の最後に、ゴールとなるコミュニケーション活動が設定されている。 ・各課は Part と Goal Activity で構成され、知識・技能と思考力・判断力・表現力を段階的に身につけられるように、言語材料と言語活動がバランスよく配置されている。 ・各課の最後に設定した Goal Activity では、「読むこと」または「書くこと／話すこと」のコミュニケーション活動が設定されている。また、学期（3学期制）に1回ずつ設定された Project を通して、複数の技能を活用した活動に取り組み、総合的な力を身につけられる構成になっている。 ・For Self-study や Further Reading、その他資料など、一人一人の学びに合わせて選択できるページを設け、家庭学習でも活用できるようになっている。 ・登場人物については、男女・出身地域の偏りがないように配慮されている。 ・音声やアニメーション、モデル動画や資料映像、発音確認や英和辞典など、生徒の学びを深めるコンテンツが豊富。デジタルコンテンツで利用できる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色は避け、グラフや地図などの図版、および文字や記号などについて、色の組み合わせや濃淡などに配慮されている。 ・A4判で、イラストや写真を大きく扱って見やすくなっている。また、全学年を通して、ユニバーサルデザインに配慮したフォントが使用されている。

教科・種目	教科書名	発行者
英語	ONE WORLD English Course 1 2 3	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各 Lesson が Part, Task, Grammar その他に Activities Plus, Reading, Further Reading, Tips for ～等に分かれているため、学習目標がわかりやすくなっている。Think & Try があることで生徒それぞれが考え、書いたりやり取りしたりできる。 ・第1学年の Lesson 2 までは吹き出しを使用した対話文で会話のイメージがしやすくなっている。また、内容においても第1学年では身近なもの・ことを題材にした教材が多いが、第3学年においては卒業後の進路や国際的な教材が多くなっている。 ・第1学年の教科書では新出語句の下に「小学校の発信語」を掲載しているとともに Springboard 1～6 でふり返りができるようになっている。 ・第1年 Lesson 7 (社会)等、第2年 Lesson 1 (道徳)等、第3年 Lesson 2 (理科)等の題材を使用している。 ・Useful Expressions では Lesson に取り上げられていないが日常会話で使用するやり取りを学ぶことができる。 ・Tips for ～ではそれぞれの領域に応じた技能を習得できるコツを示している。 ・部活動・職場体験・卒業後の進路など生徒の身近な生活に関連付けた内容も多くある。また、学習を通して、自国の文化に触れるとともに他国の文化にも触れ、SDGs をふまえた内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」がしっかりと編成されている。また、Lesson で習う文法事項は統一性があり、Lesson の最後で Grammar でまとめて復習できるようになっている。Lesson ではない領域についてはその他の項目で補っている。 ・表紙ウラ①②には目標設定を書くことができる。また、各項目の最後にふり返りがあり自己評価できるとともに、巻末資料として Word List (辞書) や Can-Do 自己チェックリストがあり自己学習ができる。 ・デジタルコンテンツで、英語の音声等にふれることができる。 ・新出語の語数 1年 552語 2年 635語 3年 501語 ・A B判 第1学年 9課 176ページ 第2学年 9課 176ページ 第3学年 7課 176ページ (全学年巻末資料を含む)
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵・図版・写真は、生徒の学習意欲を高めるものであり、5領域マークもわかりやすい。 ・第1学年の教科書では手書き文字に近く判読しやすいフォントを用いている。 ・人権の配慮についても専門家による校閲を受け、多様な視点から配慮している。

教科・種目	教科書名	発行者
英語	Here We Go! ENGLISH COURSE 1 2 3	光村図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元のねらいを終末に記載し、学習目標を達成できるよう工夫している。 ・Book 1 Let's Be Friends! で、小学校の既習事項を掲載し、中学校での学びとつなげる工夫がなされている。 ・帯活動を想定した Let's Talk! のコーナーで、即興的なやり取りをする活動を設定し、言語活動の充実を図っている。 ・小教材の Daily Life では、注文や道案内といった実社会の言語使用場面を取り入れている。 ・巻末に「英語の学び方ガイド」としたコーナーを設定し、生徒が主体的に学ぶためのアドバイスを掲載している。 ・防災・福祉・日本の伝統文化、世界の多様な文化、人権問題等取り上げ、他教科との関連も図られている。 ・各 Unit の最後に Goal として、学んだことを段階的に活用して発信する学習活動を取り入れている。 ・帯教材として Story Retelling のコーナーを設け、学んだ情報を、写真や絵をヒントにしなが、自分の言葉で伝える活動を取り入れている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・判型は AB で、Book 1, 2, 3 すべて 194 ページ、8 課で構成されている。 ・語彙は中学校初出語 1659 語、小学校と合わせて 2237 語で、そのうち発信まで使えるようにしたい語を太字で表している。中学校初出語 484 語、小学校 417 語で合わせて 901 語を発信で使えるようになりたい語としている。 ・Let's Read では、最長 516 語の読み物教材を掲載している。 ・デジタルコンテンツを 750 点以上設定している。 ・Can Do List を巻末折り込み仕様で取り入れ、目標の達成度を自己評価できるようにしている。 ・ペアやグループになり話し合う活動を、各パートの後半に取り入れ、多様な活動の形態を促すものとなっている。 ・各ユニットの最後に、Goal のコーナーを設け、ゴールに向けた学習活動を展開し、系統性を踏まえた構成になっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・図表、写真等を適度に用い、視覚的にわかりやすい構成となっている。 ・日本語の文にユニバーサルデザインフォントを使用し、色についてもカラーユニバーサルデザインを使用しすべての生徒の特性に対応している。 ・Book 3 で絶滅危惧種動物を取り扱い、Book 2 で防災を取り上げ、環境教育、安全教育にも対応している。 ・登場人物に日本人、韓国人、アメリカ人、南アフリカ共和国出身者を扱い、国際的な視野を取り入れている。

教科・種目	教科書名	発行者
英語	BLUE SKY English Course 1 2 3	啓林館

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末の Can-Do List に各学年でできるようになって欲しいことが 4 技能 5 領域別に掲載されており、自己評価が行えるようになっている。 ・ 1 年巻頭の Let's Start では、小学校で「聞く」「話す」で慣れ親しんだ語彙や表現について確認することができる。 ・ 各課の最初に Input と Output の目標が示されている。 ・ 各課の間に即興的なやり取りを促せる題材の Let's Talk または Let's Write が設定されており、アウトプットの技能を集中的に養う活動がある。 ・ 数課ごとに統合的な活動である Project が設置され、学期末にそれまで学んだことを生かしながら、設定された課題に対して自分の考えや意見をまとめ、話したり書いたりする統合的な活動を行えるようになっている。 ・ SDGs、美術、歴史、社会福祉、地球温暖化等、他教科と関連した多様な分野について生徒が考えを深め学習できる内容になっている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各課の Part 1 ～ 3 では、それぞれに Listen / Speak / Write が設定され、「知識・技能」の定着を図ることができる。 ・ 各課（1 年は 5 課から）の Part 1 ～ 3 で Express Yourself が設定され、目的や場面、状況に沿って、新出文法等の身につけた技能を使い自己表現する活動がある。 ・ 各課に Input 活動（Read / Listen & Think）が設置され、話の大まかな内容や要点を捉えたり、自分の考えや気持ちを整理して表現したりすることができる。 ・ 各課の最後に Output 活動（Think & Speak / Write）が設置され、「思考・判断・表現」の定着を図ることができる。また、自分の目標達成度を振り返り自己評価をすることができる。 ・ A4 判。1 年 1 5 9 ページ 1 0 課、2 年 1 6 3 ページ 8 課、3 年 1 4 7 ページ 6 課で構成されている。 ・ 3 年間で約 2, 4 0 0 語程度（小学校既習語語を含む）に触れることができる。 ・ 巻末付録に Listening Script、基本文のまとめ、Word Box、Word List 等がある。 ・ 「学習者用デジタル教科書」は、教科書紙面の閲覧に加えて、ペン・ふせんなどの基本的なツール機能、読み上げ・色反転などの特別支援機能、そして教科書デジタルコンテンツ等が使用できる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ メディア・ユニバーサル・デザイン協会による検証を受けている。 ・ 巻頭の BLUE SKY World Map にも掲載されているように、多くの国や地域、人種・民族が登場しており、国際理解・異文化理解を深められるようになっている。 ・ 女性は赤色・男性は青色といった固定観念で性の区別をしない等のジェンダーへの配慮が行われている。 ・ 自分の家庭における役割や自分の地域の状況等を意識できる内容が含まれている。

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	新編 新しい道徳1 2 3	東京書籍

項目	観点の内容
内容の取扱	<p>○巻頭では、より深く、多角的な学習を目指すことができるように、オリエンテーションと、教科書や二次元コードの説明といった工夫がなされている。</p> <p>○和歌山県に関連する内容としては、島正博さんについてと、樫野の人々とエルトゥールル号について紹介されている。</p> <p>○小学校道徳科との連携を図る教材があり、小学校道徳科で学習した教材を、中学校になって再度読むことで、自分にどのような変化や成長があるか確認できる。</p> <p>○情報モラルについては全学年でスマートフォンやSNSに関連付けた内容となっており、生徒の実態や身近な生活の中から考えることができる工夫がなされている。また、付録として各学年にSDGs についての内容が3教材用意されており、現代的な課題について学習を深めることができる。</p> <p>○人権上に教材の内容や挿絵において、「地域」や「性別による役割・人数」による偏りがないように配慮されている。また、各学年で様々な人権問題について取り上げられており、特に3年生ではLGBT について多様性や個性を理解し、生徒が人権について考えられる内容が組み込まれている。</p> <p>○人物教材では、歴史上の有名人や偉人だけでなく、近年活躍する人物について紹介されており、生徒の興味・関心を引くものとなっている。</p>
構成 配列 分量 補充 発展	<p>○1年197ページ、2年205ページ、3年205ページ、3学年の平均は約202ページ。(※すべての学年で巻末の自己評価用紙5ページ分含む)</p> <p>○中学校学習指導要領(道徳科)に示された内容項目のすべてを取り上げ、各学年、本編で35教材の教材があり、さらに付録として4教材ある。また、文章の代わりに漫画や写真、イラスト、グラフを組み込む配慮があり、1教材当たりの分量も少ないため、生徒が考え、議論する時間の確保に努めている。</p>
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<p>○本文はAB判で書体には視認性の高いUDフォントが使用されている。また、全ての生徒の色覚特性に適応するよう、配色やデザインの検証を行っている。</p> <p>○多彩なコラムが用意されており、体験的な学習や問題解決的な学習をスムーズに行うことができる工夫や、実際の人々の声や体験談や組み込まれている。</p> <p>○全ての教材で「学びを深めるための二次元コード」が用意されており、音声朗読とワークシートを活用することができる。また、教材に関する映像や、Webサイトの二次元コードを活用することで生徒の興味・関心と理解度を高め、より主体的・多角的な深い学びに結びつけることができる工夫がされている。</p> <p>○付録として、学期毎に自己の振り返りができる自己評価用紙と心情円がある。</p> <p>○中学校配当漢字、常用外漢字、固有名詞にはルビを付け、生徒の読みの負担を軽減している。</p>

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	中学道徳123 とびだそう未来へ	教育出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ○短めの教材、漫画や写真、絵本などを用いた理解しやすい教材により、教材の読み取りに偏ることなく、考え話し合う時間の確保に配慮している。 ○問題解決的な学習や体験的な学習（モラルスキルトレーニング、役割演技）などの多様な指導方法を取り入れている。 ○全学年を通して、発達段階を意識し、教材内容を精選し、じっくりと考えたり対話を通して深めたりする時間が十分とれるようにしている。 ○1年始めて、小学校との円滑な接続を意識した教材を選んでいる。 ○各教材は、他教科や総合的な学習の時間、特別活動、学校行事と連携しやすい時期に配置し、横断的な学びを通して学習効果が高まるようにしている。 ○自分の考えを表現したり、他者と考えを交流させたりする言語活動を重視している。 ○「学びの道しるべ」（手引き）で、構造化した3つの問いにより、教材を足がかりにしながら道徳的価値について段階的に深められるようにしている。 ○表記・表現は適切である。 ○学年末の「『よりよく生きる』って、どういうことだろう？」で道徳科の学びを今後の生き方に生かし、生徒それぞれのウェルビーイングの実現につなげようとしている。 ○和歌山に関連した題材はない。 ○「情報モラル」「防災」など今日的な課題は、教材に加えてコラムでも扱っている。また、世界情勢を鑑みて、「平和」について考えられるようにしている。 ○ESD、SDGs への対応として、複数教材とコラムからなるユニットを設定し、多様な人々や地球環境との共生について考えられるようにしている。 ○挿絵の人物描写を多様にし、人権に配慮している。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ○1年200ページ、2・3年192ページで、全学年本教材30＋補助教材5と巻末付録「道徳科の学びを振り返ろう」3枚と「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」1枚がある。 ○全体は、「さあ、道徳を始めよう！」「本教材とコラム」「補充教材」「『よりよく生きる』って、どういうことだろう？」で構成され、1年間の流れが見通せる。 ○教材は、「学習の視点」「導入」「教材文」「学びの道しるべ」（手引き）で構成され、1時間の流れがわかりやすくなっている。 ○各領域の指導事項に偏りはなく、分量は適切に配分している。 ○教科書冒頭で、学習者用端末の効果的な活用場面・方法を示し、個別最適な学び、協働的な学びを促している。 ○二次元コードを通じて、教材の理解を助ける「教材解説」や動画、学びを深めたり広げたりできる「外部リンク」などのデジタルコンテンツを活用できる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や挿絵は、多くなくすっきりしており、紙面全体が読みやすく、わかりやすい紙面構成にしている ○色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいユニバーサルデザインにしている。 ○UDフォント、再生紙と植物性インキを使用、表紙には抗菌加工している。 ○中学校配当漢字、常用漢字、固有名詞にはルビをつけている。

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	中学道徳 123 きみが いちばん ひかるとき	光村図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<p>○「主体的な学び手を育てる」「自ら問いをもち探求する」「人権に対する感性を育む」ことを軸に内容を編修している。</p> <p>○生徒の成長を考慮し、1年間を3つのポイント「答えは一つではない」「自分と向き合い、他者と向き合う」「学びをつなげる」にわけ、複数の教材を組み合わせたユニットで構成されている。1時間の学びが単独にならず、教材から教材へと結びつくように配慮されている。また、ユニットにはテーマが設けられ、「いじめを許さない心」「共生」「情報モラル」等、全学年に共通するものもあれば、学年の発達段階に応じたテーマも設定されている。</p> <p>○各教材では、「考えよう」でテーマを捉え、「見方を変えて」で多面的・多角的に学びを深め、「つなげよう」で日常生活や他教科での学びをつなげることができる。</p> <p>○対話や役割演技等の活動によって話し合い（言語活動）を活性化させる教材もある。</p> <p>○年間に4回「まなびをプラス」という教材が設けられ、前時の授業での内容を、活動を通して考えを深めることができる。</p> <p>○最終教材には「一年間の学びを振り返ろう」を扱い、自分にとってどのような価値があるものだったかを振り返り、巻末の「まなびの記録」に書き溜めてきた内容を確認することで、1年間の成長を認識することができる。</p> <p>○持続可能な開発目標（SDGs）に関連するテーマを幅広く取り上げている。</p> <p>○和歌山県に関連する教材はない。</p>
構成 配列 分量 補充 発展	<p>○教科書は、1年生184ページ、2年生192ページ、3年生192ページ、平均189ページ。文章だけでなくイラストや漫画、写真を用いて生徒が理解しやすく、考えやすい配慮がなされている。</p> <p>○学習指導要領に示された道徳科の目標の実現を目指し、指導すべき事項として示された内容項目はすべて扱っている。</p> <p>○すべての生徒が等しく学べるよう、瞬時に内容項目が分かるカラーバリエーション、ユニバーサルデザインを採用し、特別支援教育の観点に配慮している。</p> <p>○各タイトルの下に二次元コードが掲載されているものもあり、それを読み込むことでデジタルコンテンツの資料や動画紹介のページや、音読ページにアクセスすることができる。</p>
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<p>○人権教育に配慮し、教材や挿絵に登場する人物や執筆者の性別に偏りがなくようにしており、ユニバーサルデザイン、特別支援教育、人権教育、外国人児童生徒教育、防災教育等の専門家による校閲が行われている。</p> <p>○中学校以上配当の常用漢字についてはふりがなをつけ、人種や身体的特徴については多様性を考え、記述には十分に配慮されている。</p> <p>○UDフォントを採用し、環境に配慮した植物性インキを用いている。</p>

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	中学道徳 あすを生きる 1 2 3	日本文教出版

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ問題」に正面から向き合い、生徒の人間関係が変化しやすい時期にいじめを防止するため教材が複数配置されている。いじめ防止に関する教材数は1年生で6教材、2年生で5教材、3年生で4教材である。 ・教材配置に意図があり、1年生の年度末にはキャリア、夏休み前には安全についてなどその時期に効果的な学習を行うことができる。 ・「自立と共生」「環境と未来」をテーマに複数の教材をユニット化して配置している。 ・和歌山に関連した教材として第二学年で「時を超えて—檜野で生まれたきずな—」第三学年で「稲むらの火」を扱っている。 ・巻末に「受け継ぐかたち・思い・地域の良さ」というページがあり、3学年で47都道府県の特徴を紹介している。和歌山は「松下幸之助」が紹介されている。 ・コラム「視野を広げて」は教材で示されている内容を他教科などと関連付けながら、多面的・多角的に考えられるようにしている。また、知識だけでなく、スキルトレーニング的な内容を含んでいるものもある。 ・コラム「あすへのメッセージ」は教材理解を深め、生徒一人ひとりを応援する資料として、取り上げた人物の生の声や補助資料が紹介されている。 ・「学びを深めよう」において、動作化や役割演技など体験的な学習の方法が示されたり、思考ツールを活用して問題を解決できるように考えたりできるような内容が示されている。 ・目次において教材名の下にテーマが明示されており、わかりやすい。 ・各学年で10教材以上学生を扱った教材があり、生徒にとって身近で考えやすい教材が多い。 ・新しい教材が多く、漫画やSNSを使用した教材、著名人を扱った教材など生徒の興味を引く題材が複数使用されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ数は1年生176、2年生184、3年生192で平均184ページである。 ・「①気づく」→「②考える・議論する・深める」→「③見つめる・生かす」という学び方が記されており、道徳でどのように学べばよいか明確に示されている。 ・各学年の冒頭に「ミニ教材」が設定されており、学び方の確認ができるようになっている。 ・1年間の教材配置に意図があり、発達段階などを踏まえ、各テーマを学ぶ必然性が感じられる時期に配置している。 ・タイトルの下に登場人物を紹介し、内容把握を助けている。 ・二次元コンテンツがあり、全ての教材に授業の導入や展開で使用できる動画や画像、朗読音声、シンキングツールなどが用意されている。 ・別冊ノートがあり、自分の考えを記録できる。学期ごとの振り返りもでき、評価に活用できるようになっている。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・フォントやカラーにユニバーサルデザインの配慮がある。 ・現代的なイラスト、ダイナミックな写真など多彩な挿絵を使用し、理解を助け、親しみが持てるようになっている。また、イラスト等は多様性に配慮したものになっている。 ・中学校配当の漢字及び常用漢字外の漢字に振り仮名が付されており、読みの負担が軽減されている。また、読み仮名がゴシック体になっており、小さくても判別しやすくなっている。

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	新版 中学生の道徳 明日への扉 1 2 3	Gakken

項目	観点の内容
内容の取扱	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に付随している「クローズアップ」では生き方の選択肢を増やすことを目指し、教材の価値項目に関連した情報が取り上げられている。 ・教材に付随している「深めよう」では「考える4つのステップ」に沿い、話し合いや自己の生き方を見つめる学習がなされるよう働きかけている。 ・和歌山に関連した教材として第一学年に「エルトゥールル号の遭難」が取り上げられている。 ・最重点テーマを「いのち」とし、全学年で「いのち」をテーマにした教材が3教材掲載されている。また、「いのちの教育」を土台とし、「多様性」を扱った教材が1年生で6教材、2年生で4教材、3年生で6教材、「いじめ防止」を扱った教材が1年生で6教材、2年生で7教材、3年生で5教材あり、いのちを大切にすることを育む指導がしやすくなっている。 ・生徒が広い視野で社会を捉え、多面的・多角的に考えを深められるよう、「SDGs」「多様性」「キャリア」をテーマに複数の教材を組み合わせたユニット教材が各学年で扱われている。 ・多様性に配慮し、障害者、海外にルーツを持つ人、ジェンダー平等など、人権課題を意識し、多様性に配慮しており、教科書中に描かれる生徒の制服にも配慮が示されている。 ・上記以外にも「法教育」や「消費者教育」など現代的な課題に対応した教材がある。 ・各学年で10教材以上学生を扱った教材があり、生徒にとって身近で考えやすい教材が多い。比較的、新しめの教材や最近の題材が多い傾向にある。 ・漫画やSNSを使用した教材、著名人を扱った教材など生徒の興味を引く題材が複数使用されている。
構成 配列 分量 補充 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ数は1年生187、2年生191、3年生195で平均191ページ。 ・冒頭で「道徳科で学ぶこと考えること」「考える4つのステップ」を示し、生活や社会から問題・課題を見つけ、話し合うことを通してよりよい生き方を考えていくことを明確にしている。 ・巻末に、各学期の振り返りができる「学びの記録」のページ、1年間の学びを振り返りながら未来をイメージする「未来への扉」ページが付属しており、評価に活用できる。 ・教材のタイトルの下に教材への関心を喚起するキーワードが掲載されている。 ・学習の途中で気になることや考えたことをメモすることができる欄が設けられている。 ・情報モラルへの対応として生徒の発達や成長に合わせた教材が配列されている。SNSに言及した教材と資料が多い。 ・二次元コードを使ってインターネット上の補助教材にアクセスできるようになっている。教材に関する写真や動画、音声、ワークシートなどが見られる。
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<ul style="list-style-type: none"> ・フォントやカラーにユニバーサルデザインの配慮がある。 ・現代的なイラスト、ダイナミックな写真など多彩な挿絵を使用し、理解を助け、親しみが持てるようになっている。 ・中学校配当の漢字及び常用漢字外の漢字に振り仮名が付されており、読みの負担が軽減されている。 ・読みやすさ向上のため、紙面の広いAB判を採用している。

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	中学生の道徳 1 2 3	あかつき教育図書

項目	観点の内容
内容の取扱	<p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して、①中学生の心を育む35本の教材を厳選、②現代と未来を生きる生徒のために、③家庭や地域と共に行う道徳教育を、の3つの基本方針のもと編修している。</p> <p>○各学年3教材に「マイ・プラス」を設置し、生徒の生活体験・体験学習を踏まえ、いろいろな立場に立って想像したり考えたりできるような問いを設定し、話し合いや役割演技を取り入れて、授業を活発に円滑に進めることができるようにしている。</p> <p>○発達段階を考慮した身近な題材に加え、大人でも心に残る題材を一般書籍や記事等から選び、生徒同士だけでなく、教師や保護者とも対話が深まるようにしている。</p> <p>○他の教科や教育活動との関連を考慮しているが、行事との関連は特にない。</p> <p>○定番教材、感動教材などの読み物教材を中心に、言語活動の充実が図られている。</p> <p>○1年「ある日のバッテリーボックス」の最後、「普通の少年」という表現は丁寧な扱いがある。</p> <p>○全学年とも巻末でSDGsの視点と地域の事例を紹介し、これからの自分の生き方を考えるようにしている。</p> <p>○和歌山に関連した内容として、2年の補充教材「ふるさとに学びを広げよう」の一部に松下幸之助が写真と共に紹介され、3年内容項目「国際理解・国際貢献」で、「海と空—樫野の人々」と題し、エルトゥールル号遭難にまつわる話を取り上げられている。</p> <p>○人権上の配慮として、登場する男女のバランスを考慮し、挿絵では性別を規定しない生徒の姿も描いている。</p>
構成 配列 分量 補充 発展	<p>○全学年とも184ページで、本編が35教材、巻末付録「学習の記録」3枚と「1年間の学習の記録」が1枚ある。補助資料が1年10、2年9、3年8ある。</p> <p>○教材を読んで考えるための視点を提示し、この教材で「何を」「どのように」考えるのかを共有できる考えの道すじを示している。また、学習活動がイメージできる発問が用意され、最後に自分に問い直す構成となっている。</p> <p>○重要視したテーマについては、連続して配列し、重点項目は年間3時間ずつ配当している。生命尊重といじめ防止は最重要課題とし、特にいじめ防止については、かかわりの深い内容項目の配当時間を考慮している。</p> <p>○各領域の指導事項は偏りなく構成され、分量は適切に配分されている。</p> <p>○導入として、また、終末に使える動画は、自学・自習の手助けにもなる。</p> <p>○二次元コードから補助資料として、写真・動画・参考となる外部ページを見ることができ、調べ学習をはじめとした発展的な学習を促すことができる。</p>
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<p>○色の識別、マークの形状、デザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮している。</p> <p>○UDフォント、再生紙、植物油インキを使用。</p> <p>○中学校配当漢字、常用漢字、固有名詞にルビをつけている。</p>

教科・種目	教科書名	発行者
道徳	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 2 生き方を見つめる 3 生き方を創造する	日本教科書

項目	観点の内容
内容の取扱	<p>○教科書の冒頭に、「ガイダンス」教材を設置し、進め方や振り返りなどについて、小教材による演習が設定されている。</p> <p>○全学年、各教材の発問には、「考えよう」「深めよう」を置き、学習活動を明確にするとともに、子供たちが読み取りの偏重から脱却し、教師にとって「考え、議論し、探求する道徳」の授業へと転換しやすいようになっている。</p> <p>○各学年において、いじめ、伝統・文化、現代的な課題を取り上げている。特に現代的な課題では次のような内容を取り扱っている。</p> <p>【情報モラル】【生命尊重】【キャリア教育】【SDG s】【安全の確保】など。</p> <p>○時代の流れに合わせ、3年生では戦後の家族の形とは異なる、「新しい家族のカタチ」について議論する教材がある。</p> <p>○資料として、全学年の巻末に「わたしたちの郷土」として日本が世界に誇れる自然や文化遺産、また世界で活躍する人物の紹介がある。ただし和歌山県に関連する教材の取り扱いは、1年生での「海と空」と題した「エルトゥール号」のみとなっている。</p>
構成 配列 分量 補充 発展	<p>○1年生156ページ、2年生160ページ、3年生164ページ。3学年の平均ページは160ページ。ただしすべての学年で、巻末にウェルビーイングカードが全26枚ある。</p> <p>※ウェルビーイングカードとは、「希望」「感謝」「多様性」などが記載されたカードであり、いきなり何もないところから発言するのではなく、自分がいきいきと過ごすために何が大切なのかを考えやすくしたり、周りとの意見を交流したりしやすくするためのツールである。</p> <p>○中学校学習指導要領（特別な教科 道徳）に示された内容項目のすべてを取り上げ、年間35時間分の教材（ガイダンス教材1時間を含む）がある。</p> <p>○学習指導要領に示されている4つの視点を、マークを用いて振り分けており、各教材がどの視点に属しているかが一目でわかるようになっている。</p> <p>○四コマ漫画や漫画教材を随所に配置することで、考えをひろげやすく、スムーズに課題について話し合えるための工夫がある。</p> <p>○二次元コンテンツを随所に配置し、生徒が議論しやすいように、補助教材や教材に関する資料が載せている。</p>
図表・写真・資料 その他 教科・種目の特性 による観点	<p>○読みやすさ向上のため、紙面の広いAB判を採用している。</p> <p>○環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインの観点から、全ページにわたり配色とデザインに配慮している。</p> <p>○本文はUDフォントを用い、全体的には視認性と読みやすさ向上を図っている。しかし、挿絵や資料が載せられておらず、文字のみのページもあり、生徒にとっては一部読みづらさを感じさせる箇所もある。</p> <p>○中学校配当漢字、常用外漢字、固有名詞にはルビを付け、生徒の読みの負担を軽減している。</p>